

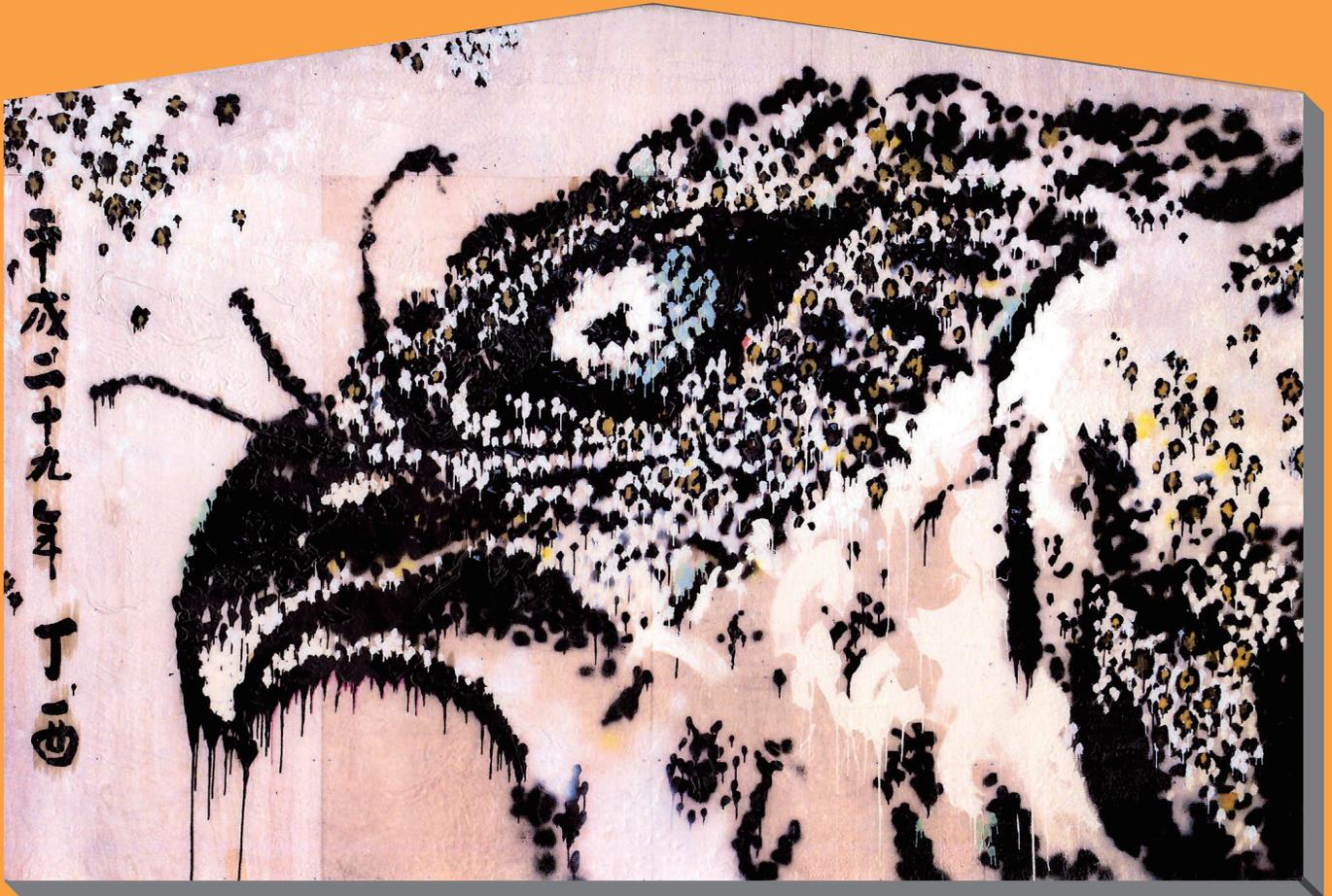
徳島エコノミージャーナル

ecoja

1
2017
January
No 447

Tokushima Economy Journal
徳島発信 経済情報誌

謹賀新年 平成29年



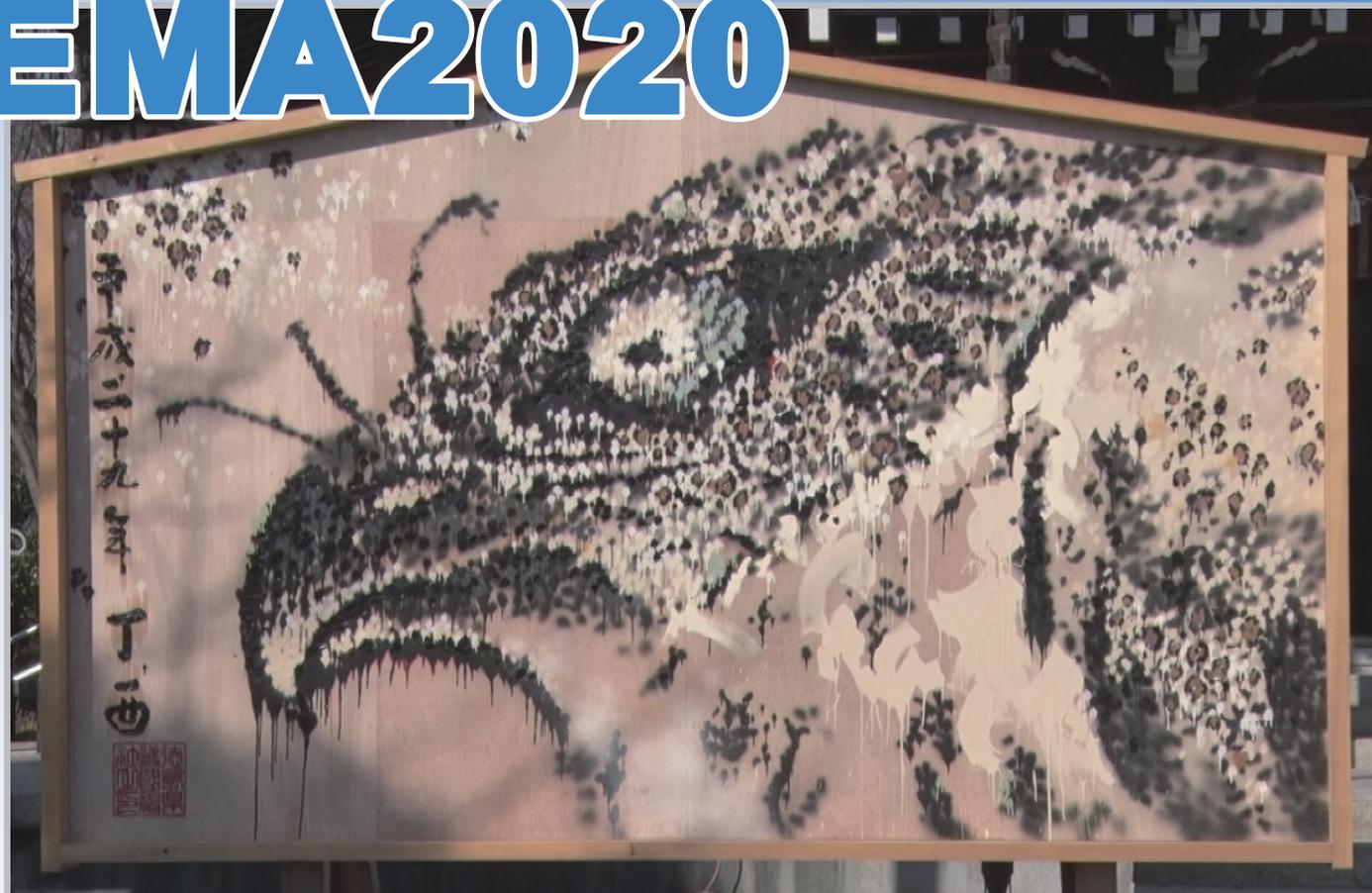
書:四宮 生重郎

画:MUSTONE

徳島縣護國神社 平成29年絵馬

巨大絵馬プロジェクト

EMA2020



2008年より開始された巨大絵馬プロジェクト「EMA2020」。

これは徳島県護国神社とアーティストによる巨大絵馬の制作プロジェクトで毎年一枚の巨大絵馬を干支に合わせて製作し、元旦に神社に奉納するというものです。

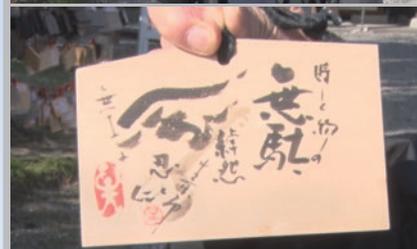
12枚の絵馬が出揃う2020年には全ての絵馬を並べ(円周約43m)、このプロジェクトが完成します。

画を手がけているのは徳島出身のMUSTONE氏、書は本誌“生重郎娛録”でおなじみの四宮生重郎氏が手がけています。

巨大絵馬は、毎年元旦から秋まで護国神社の境内に展示されます。

また、同神社では、巨大絵馬のほかに、〈小絵馬〉、〈中絵馬〉の販売もなっています。

数には限りがありますので、ご希望の方はお早めにお買い求めください。



展示場所: 徳島県護国神社

(徳島市雑賀町東開21-1)

お問合せ: 088-669-3090 (徳島県護国神社社務所)

協力: (株)サクラクレバス

XTHREEE

(有)中川刺繍

龍江堂

娛座留連

(有)ハヤシカメラ

藍住町歴史館

藍の館

主催: 徳島県護国神社 EMA2020運営委員会

エコジャホームページでも毎月ピックアップ記事を更新。
下記サイトでご覧いただけます。

<http://www.jctv.ne.jp/ecoja>

知らなきゃ恥ずかしい！でも意外と知らない！

今日から使える！ **ビジネス用語**

第65回 「Sharing economy」

敵対的買取に対抗する防衛策

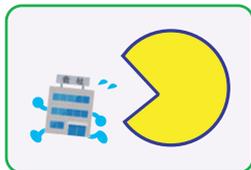
【パックマン・ディフェンス】 & 【スコーチド・アース】

【パックマン・ディフェンス】

ゲームの「パックマン」に類似していることに由来します。

買取をしかけられた企業が、買取をしかけた企業に対して逆に買取をしかけることで防衛する方法です。現在、日本では買取の対象となっている企業が買取を仕掛けている企業の株式の4分の1を取得すると、買取を仕掛けている企業が保有する株式の議決権は失われるので、それを利用した買取防衛策です。

ただし、この防衛方法は買取側ばかりでなく被買取企業も資産売却や借入れによって資金を賄う必要性が生じ、高いリスクを伴うため、買取の対象となっている企業に財務的な余裕がある場合にとられることが多い防衛策です。



【スコーチド・アース】

侵入してきた外敵に対して、地域の利用価値をなくすために建物や食料などを焼き尽くし、現地調達を不可能にさせる軍事作戦に由来します。

買取対象となった会社が自ら重要な資産や収益性の高い事業を第三者に譲渡したり、分社化したりすることによって、企業価値を大きく下げ、買取者の買取意欲を大きく削ぐことを目的とした経営戦略です。

現在、その戦略の一つに、自社の優良資産などを王冠の宝石に例えた「クラウンジュエル」があります。これは、敵対的買取の対象となった会社が、自社で最も魅力的な事業部門や資産または子会社を第三者に譲渡したり、分社化したりすることによって、買取面において、自社をより魅力のないものにするを指します。

2 巨大絵馬プロジェクト EMA 2020

4 暮らしと88星座

四国大学生活科学部講師
上野 昇

6 伝統は革新の連続

伝統工芸「京和傘」日吉屋
五代目当主 西堀 耕太郎

8 ネット販売に負けない！ 究極の店舗再生術

OFFICE DETECT
会長 佐藤 志憲

10 自治随想

徳島文理大学総合政策研究科教
徳島県及び高知県参議院合同選挙区
選挙管理委員会委員長
西川 政善

12 日出晴夫のITな話

中小企業診断士 日出 晴夫

16 平井吉信コーナー

中小企業診断士 平井 吉信

18 ドクター板東の メディカルリサーチ

医学博士 板東 浩

20 松下幸之助に学ぶ

全国PHP友の会 会友 梶浦 洋一

22 むかし「局アナ」いま「隠居」

元朝日放送アナウンサー 上田 博章

24 美術をたのしむ、美術館をたのしむ

徳島県立近代美術館企画交流室長 森 芳功

26 戦国おもしろ百話

三好長慶会代表 出水 康生

28 傘寿談議

徳島剣山世界農業遺産支援協議会 会長 永井 英彰

生重郎の娯録

書と画 四宮 生重郎

代表的な88星座の中から、星にまつわるエピソードや、暮らしの中に伝わる歳時記などをピックアップして、徳島のイベント情報を掲載する。四国といえど88ヶ所霊場巡りが有名だが、同じ数の88星座などを絡めて紹介したい。

元旦に「うるう秒」挿入

平成29年の元旦に「うるう秒」が挿入される。つまり、日本時間の午前8時59分59秒の次に「60秒」を挿入するぞうだ。たった「1秒」増えるだけで、特に普段と変わらぬ正月だと思いが、一企業業のSE担当者にとっては、元旦出勤も少なからずいるのでは。一般の時計では「60秒」を表示できないこともあり、東京都小金井市にある情報通信研究機構に設置されている日本標準時大型表示装置前では、その「1秒」見たさに多くの入連で賑わうだろう。

徳島の「初日の出」の時刻は7時6分頃。例えば大鳴門橋の



寒椿

(阿波市市場町日開谷の道端にて)

しぶんぎ座流星群

しぶんぎ座流星群は8月のペルセウス座流星群、12月のふたご座流星群と並び三大流星群の一つ。この「しぶんぎ座」という星座は今も存在しないが、かつてこのあたりに「へきめんしぶんぎ座」という星座があったことからこの名前がついたという。1月3日、深夜23時から4日未明にかけて1時間あたり30個程度、月没後で月明かりのない好条件で観察できる予定。北東方向を中心に、空を広く見渡せば発見できるだろう。

31 火	30 月	29 日	28 土	27 金	26 木	25 水	24 火	23 月	22 日	21 土	20 金	19 木	18 水	17 火	16 月
ひのと 一白仏滅 うま	ひのえ 九紫先負 み	きのと 八白友引 たつ	きのえ 七赤先勝 う	みずのと 六白大安 とら	みずのえ 五黄仏滅 うし	かのと 四緑先負 ね	かのを 三碧友引 い	つちのと 二黒先勝 いぬ	つちのえ 一白赤口 とり	ひのと 九紫大安 さる	ひのえ 八白仏滅 ひつじ	きのと 七赤先負 うま	きのえ 六白友引 み	みずのと 五黄先勝 たつ	みずのえ 四緑赤口 う
旧14	旧13	旧12	旧11	旧12.30	旧12.29	旧12.28	旧12.27	旧12.26	旧12.25	旧12.24	旧12.23	旧12.22	旧12.21	旧12.20	旧12.19

鶏始乳
にわとりはじめてのうむ

水沢腹堅
きわみずこわりのつめる

全国学校給食週間

歎冬華
ふきのほろをそく

大寒



雉始鳴
きじはじめてなく

新月

下弦

2/14日 とくしま駅広ツインツリー光&未来
(徳島市・JR徳島駅前)

1/30日 オアシスイルミネーション
(東みよし町・吉野川ハイウェイオアシス)



1/22日 平等寺 本尊初会式
(阿南市新野町・平等寺)

1/15日 デ・レイケ公園イルミネーション
(美馬市脇町)

1/15日 ドイツ館イルミネーション
(鳴門市ドイツ館・館前広場周辺)

1/15日 大山寺の力餅
(上板町・大山寺)

平成28年12月16日 / グランヴィリオホテル 主催：徳嶋よろず支援拠点

伝統は革新の連続 ～和傘の技術で世界へ～

講師 伝統工芸「京和傘」日吉屋
五代目当主 古村 孝志氏



始めに

何百年も前から続けていることは伝統と呼ばれますが、その間何も変化がないことはほとんどありません。私は竹と和紙で和傘を作っていますが、創業から何も変わっていないというのではなく、時代に合わせて変化しています。

消えていく和傘

様々な所で講演をしています。そこで和傘を使っているか質問すると100人いても4、5人しか使っておらず、地元の京都では誰も使っていないませんでした。

そんな中で江戸時代から確立された方法で和傘を作ってきました。私の代で5代目になります。昭和の初め頃が和傘製造の最盛期でしたが、戦後から80年ほどでほぼゼロになりました。

最盛期の和傘は1700万本作られていて、傘といえば和傘のことでした。当時は日常生活品として使われていましたが、現在は伝統芸能の歌舞伎

や日本舞踊などでしか使われなくなりました。京都では明治時代に和傘を作っている所が200件以上ありましたが、今では弊社1件だけになりました。

なぜ1件だけ残ることができたかという点、弊社の近くに表千家や裏千家などの茶道家が居て、茶道の野点傘としての需要があったので、細々ですが続けてくることができました。



伝統と革新の連続

私は5代目で、妻の実家を継いだのが縁です。伝統工芸の家に生まれたわけでも傘に囲まれて育ったわけでもありません。18年前に妻の家に遊びに行ったときに、傘屋というものを見て、素晴らしし、恰好いいので、凄いいことをやっているなと思いました。

ところが、和傘屋で生まれた妻の実家の方々は、モチベーションが低く、売上が年間で160万

円ぐらいしかありませんでした。これでは生活できないので、残念ですが廃業するという状況になっていて、私はそれを聞いて、こんなに素晴らしいモノなんだから何とかできるんじゃないか、と思ひ、和傘にかかわるようになりまし。

和傘は恰好よくきれいですが、毎日使うモノではありません。雨傘としての役割はもう終わっています。どれほど素晴らしいものかですといったところで、お客が生活に取り入れようとしなければ、商売を続けていくことはできません。

では和傘の伝統は価値がないのか？というところ、何百年も続いてきたというものは何らかの価値があるはず。京都には100年以上続いている会社が2000社ほどあり、弊社のように100年程度では老舗と名乗れません。が、それでも100年続けば様々な蓄積が残っています。商品や技術、歴史などを一つのコンテンツとしてとら

え、それを活かした老舗ベンチャー企業としてやり直そうと考えました。

その時に設定した企業理念が「伝統と革新の連続」です。伝統は古いものではなく、常に変化を繰り返して作られてきたので今の人たちに合った形に変化してもいいんじゃないか、と思っています。

ニーズに合わせたモノづくり

和傘にとって大変厳しい時代なので、なんとかしようと思いましたが、いきなり新しいことを始めるのではなく、そもそも自分たちが作っている和傘とは何なのか、というのを考えました。傘の役割といえば、雨傘として使うことですが、元々は魔除けや権威を象徴するモノとして使われていました。奈良時代に仏教とともに伝来し、そこから日本の傘の歴史が始まりました。江戸時代になるころには、技術革新で開閉できるようにしたり、防水ができるようになっていきました。

江戸時代は戦争もなく、

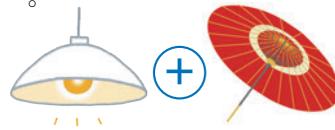
町人が装いを楽しむような文化が開いていく中で、和傘はおしゃれで便利な新しいモノとして普及していききました。

しかし、江戸時代の職人は江戸時代のお客に対して作っていたわけで、伝統工芸といっても時代に合わせて変化せずにそのままの形でいけば時代に取り残されてしまいません。伝統といっても誰かが保護してくれるわけはありません。

現在和傘を使っている人はほとんどいませんが、スマホを使っている人はいくらでもあります。これは時代のニーズに合った便利なものだからです。しかし、弊社にはスマホを作る技術もノウハウもありません。今から初めてアップルやサムスンを超えることはできません。しかし、反対にアップルやサムスンには和傘が作れません。このように、オンラインを活かしてニッチ路線を採る方が有効です。弊社の場合は、和傘を使った何かで、今のニーズに合うモノを作ろうと考えました。

和傘のランプ

和傘の良さはきれいでたたみやすいことです。商品の強みを考え、違ったものに使えないかと考え、照明器具を作りました。和傘の技術を使い、竹の骨組みで、和紙を透過した明かりはきれいに見えます。そして傘なので折りたたむことも可能です。



和傘のランプは、当初は大きな和傘を使って展示館に出していましたが、反応は良かったのにだれもオーダーしませんでした。なぜきれいだと言ってくれたのにオーダーしてくれないのか商談相手に直接聞いてみると「確かにきれいでスゴイがどこで使うんですか。今はパブル建築などほとんどなくて和室もない、こんな大きくて和風すぎるものをどうするんですか」と言われました。

そこで私はハタと気が付きました。いわゆるブ

ロダクトアウト型の商品開発失敗事例です。メーカーや職人が自己満足で出展しましたが、お客のニーズに合っているかを全く考えていませんでした。そこで、どのターゲットに訴えていくのかというビジネスプランを考えるようになりました。

照明器具の市場規模は5000億ほどだったのですが、我々が生きるところはどこかと考えたときに、伝統工芸の美しさを活かせるデザイン照明であれば、オリジナリティがお金に代わるのではないかと思えました。外部人材の専門家を活用するようになり、インテリアで使うなら小さくシンプルの方がいいというアドバイスをもらいました。それまでは傘は三角錐のものだと思っていました。

デザインナーの考えた筒状のものになりました。メーカーの我々からは、傘なので開閉できるようにしようというアイデアを出しました。そして、グッドデザイン賞に応募して賞をもらい、これはデザイン的に優れていると

いう評価をもらいました。デザインナーからすれば、照明器具が開閉できるというのは全く新しい発想でした。自分の業界の常識は違う業界に行くとき常識になります。イノベーションは当たり前どころからは生まれないので、発想の転換を生み出すには、異分野の人とコラボしていいところを探り入れていけばいいと思います。

照明ランプは、現在売上高の60%を占めています。昔は100万円だった売上が、関係する会社を併せてグループの年商が2億5千万円になりました。海外の売上は年間で3千万円あり、自前のショップをパリに展開しています。大会社を目指す気はありませんが、和傘を作る職人が食べていける会社を実現することができて、私が継いだときは家族しかいなかった会社は、今では従業員が14人になりました。

我々製造メーカーは、お客から遠いところにいるので、お客の評価を聞くために、海外にセレク

最後に

トショップを作った現地の人を巻き込んだり、大手ブランドと商品開発をしたりと、グローバルな体制で会社を運営しています。

日本は海外で名前は知られていますが、日本に来る人はまだまだ少なく、インターネットの情報もほとんど英語と中国語で、日本語の占める割合は7位ぐらいです。つまり、日本には世界で知られていないモノがたくさん眠っているということです。この宝の山から他の国に通用するものをアレンジして持つていくことができれば、まだまだ商売になる可能性があります。



どんな技術であっても、それがユニークなものであれば通用するので、それを再発見して、この徳島からも、全国そして海外へも挑戦して、どんどん新しい産業が生まれていけばいいと思います。

(文責・編集部)

平成28年12月7日 / 於:徳島商工会議所 主催: 徳島商工会議所

ネット販売に負けない！ 究極の店舗再生術

講師 OFFICE DETECT
会長 佐藤 志憲 氏

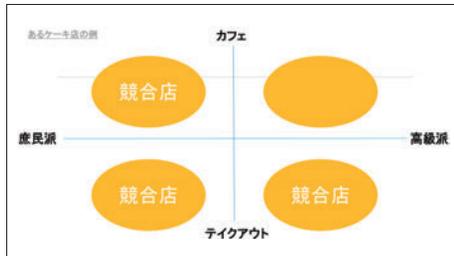


確実に勝てる商圏の見つけ方

先ず商圏とは何か？という話ですが、大規模な商圏調査をするには必要ありません。私たちが行う商圏調査は、3月と9月の年二回、町内をぐるりと歩きます。引越しをした人はいないか、マンションが建っていないかを自分の目で確かめます。この調査によって、町内に新しい家族が入ってきたとしても、競合店より早くアプローチをすることが出来ます。

商圏調査の目的とは、私たちが商売する上で、確実に売れる市場を探し当て、その市場で顧客に見つけてもらうことです。競合店のなかの立ち位置を考えることが必要です。そして、そのポジションを見極めるために、ポジショニングマップを作ることです。

あなたのお店の認知のされ方はどうでしょうか。競合の立ち居位置は？顧客にどう見られている？自社の立ち位置を作るには？という話です。



大阪の京橋にあるケーキ店を事例にお話しします。駅の裏口を出た、離れていて目立たない場所にオープンしたケーキ店から、クリスマスケーキを売りたいと相談がありました。ケーキ店は、12月23〜25日の売り上げが一年間の20%を占めると言われています。

大阪の京橋にあるケーキ店を事例にお話しします。駅の裏口を出た、離れていて目立たない場所にオープンしたケーキ店から、クリスマスケーキを売りたいと相談がありました。ケーキ店は、12月23〜25日の売り上げが一年間の20%を占めると言われています。

グラフにして考える場合、普通は横軸を値段、縦軸を年齢層で考えるのですが、ケーキ店の場合に横軸は値段、縦軸はイートインタイプか持ち帰り専門店かのサービス内容で考えるとします。

値段が安くてイートインは駅前で3店舗、安く持ち帰り店は5店舗、値段が高くて持ち帰りの店はテレビにも取り上げられる有名な店舗がありました。そこで、値段が高くて、

大阪の京橋にあるケーキ店を事例にお話しします。駅の裏口を出た、離れていて目立たない場所にオープンしたケーキ店から、クリスマスケーキを売りたいと相談がありました。ケーキ店は、12月23〜25日の売り上げが一年間の20%を占めると言われています。

グラフにして考える場合、普通は横軸を値段、縦軸を年齢層で考えるのですが、ケーキ店の場合に横軸は値段、縦軸はイートインタイプか持ち帰り専門店かのサービス内容で考えるとします。

値段が安くてイートインは駅前で3店舗、安く持ち帰り店は5店舗、値段が高くて持ち帰りの店はテレビにも取り上げられる有名な店舗がありました。そこで、値段が高くて、

イートインが狙い目だと分かりましたが、それだけでは選ばれる理由になりません。

そこで考えたのが、顧客参加型のケーキ店です。「クリスマスに親子でケーキを作りましょう」という戦略です。お客様の集め方ですが、クリスマスケーキをただ買うだけではなく、お客様の思い出を作る、という観点でチラシを作りました。そしてチラシにカードサイズでクーポンをつけ、50枚だけ配りました。

チラシの効果はどの程度かご存知でしょうか？平均で0・02%と言われてます。そんな中、50枚配って14枚も問い合わせがきました。なぜそんなに反響があったのか、それは商圏調査を行ったからです。家庭の自転車から小さい子供がいることを判断して、クリスマスのお思い出を作ることが出来るのをアピールしたチラシをピンポイントで配ったからです。「私たちが来て欲しいお客さんがいるのか」それを知るのが商圏調査です。

また、このケーキ店は業界の常識を破りました。クリスマス時期は夜遅くまで空いている店舗が多い中、18時にはお店を閉め、作ったケーキを要望に応じてサンタの恰好で自宅まで届けました。サンタさんからケーキが届けられて、子供たちは大喜びです。

お客様がケーキを買うのではなく、親子でケーキを作って写真を撮り、クリスマスのお思い出を作り、そして配達することで、取りに行く手間がなくなり、この戦略でリピーターを作ることになりました。業界の非常識は？お客様が不便に思っていることは？と考えることがヒントになります。

通行人を顧客に変える

あなたのお店は、立看板をどこに置きますか？入り口から通り過ぎるまでにいかに興味を持ってもらえるかが大切です。立て看板を道路側に30cm出すと入店率が2・8%上がります。人は危険なものに目が行く習性

があるので、看板を見るのです。立て看板の上の部分が男性は150cm、女性は138cmが一番目に留まります。また、キラキラしているもの、動くものには気を取られます。さらに、人が集まっているところが気になる習慣があるため、店頭でワゴンを置いたり、看板に風船をつけたりするのが効果的です。

お店に意識を引き付ける条件は、五感に触れさせることです。視覚は脳に入る情報の80%、嗅覚は一番記憶に残りやすい感覚と言われています。特に視覚と嗅覚を意識してください。

売上を一気に増やす
レイアウトの秘訣

商品のレイアウトには秘訣があります。客寄せ商品と、今売りたい商品の2つをはっきりさせることです。

マツモトキヨシの店頭には、安いお菓子がたくさん置いてあるのを見たことがあると思います。30代から40代のお客様が好むようなお菓子を置いて

ています。会計のため店内に入ってもらうために手軽に買えるものを客寄せ商品として置いてあるのです。

「今私たちが売りたい商品ははっきりさせる」「コンセプトをはっきりさせる」ことが重要ですが、コンセプトの明確化とは、どんなモノが買えるのか？その商品を買うことで、お客様にとってどんないいことがあるのか？を明確に教えてあげることです。

元々モノを買う認識がなく、ぶらぶらと歩いているお客様と、これを買ったほうが良いと頭の中に知識を入れているお客様なら、断然後者の方が買っていただけは明確定です。

短期間で顧客リスト
と顧客を増やす

顧客リストと顧客を爆発的に増やす一番の方法は、他社と提携を組むことです。お金を使わず、お客を呼ぶことが可能な中小企業だからこそ出来る方法です。

商圈調査で町内を歩い

ているときに、自分が来てほしいターゲット層のお客がいたら、どんなお店に行って何をしているのか観察します。

そして、そのお店に行き「自社のダイレクトメールで、御社を近くのお店の紹介として入れるので、チラシをください。その代わりにうちのチラシも御社のダイレクトメールに入れてください」と言うのです。

例えば、眼鏡店とふとん店の提携関係が出来上がったとします。そこには「肩が凝る」というお客様の共通の悩みがあります。「あなたの肩こりは眼鏡ですか？布団ですか？あなたの悩みを解決します」と二枚添えることで、一緒にチラシが入っている意味をお客様に示します。



お互い共通する悩みを持ったターゲット層のお客様はいないかという観点で町を見回してみます。この時にお互いの企業にお金を発生させない、紹

介をするだけということ徹底します。

お客が、どのような流れでモノを買っているのか考えてみてください。ケーキ屋、チキン屋、おもちや屋、飲食店、カラオケ屋、タクシーなど、お金の流れが見えてくるはずですよ。

提携する5つのメリット

- ①経費削減
- ②手間削減
- ③集客増大
- ④顧客リスト増大
- ⑤売上増大

提携するためにチェックする5つのポイント

- ①販促費は削減できる？
- ②手間が増えない？
- ③作業効率、時間効率は上がる？
- ④販路拡大につながる？
- ⑤売上は増える？

レジや棚にチラシ置くだけでは効果がありません。人の口コミで効果があるのです。それが5つ目の話です。

口コミを起こさせ
継続させる

口コミには、広く浅い口コミと深く強い口コミの二種類があります。口コミ

ミを継続させる方法として、人脈、影響力のある人を見つけているかどうかが重要です。先ずはそういう人たちが、どこにいるか知る必要があります。頻繁にお店に来てくれている人を呼んで、モニター会で意見をいただきます。そして商品化することで、私たちが関わっているお店だという認識を持ってもらいます。その人は友達に情報を伝達することで、友達から認めてもらえ、承認欲求を満たすことが出来るのです。

顧客をファン化・信者化するのといわ言われていますが、いくらサービスのレベルが高くても、人間は飽きたり、麻痺したりするので。他のお店で偶然欲しいモノがあると、簡単に乗り換えてしまいます。

そこで、モニター会を開催して、口コミの広告塔として声で伝えてもらいます。モニター会でお客と普段から強い繋がりを持つことが出来れば、お客を身内化することが出来るのです。

(文責・編集部)

自治随想

じちずいそう

Vol. 109

第4次産業革命と地方企業

徳島文理大学総合政策学部(兼総合政策学研究所)教授
徳島県及び高知県参議院合同選挙区選挙管理委員会委員長



西川 政善

始めに

時代遅れと笑われそうだが私たちの世代で産業革命というと、第1次産業革命(18世紀半ば以降の蒸気機関発明による工場制機械工業の発展)、第2次産業革命(19世紀末以降の電気・石油の活用による重工業の発展)、第3次産業革命(20世紀末以降のコンピュータ・インターネット技術の発展による情報革命)などを想起する。もともと第3次に至ると私は知識不足で十分な理解ができない状態である。

そのいづれの時代においても産業革命は、新技術を活用することで生産者一人当たりの付加価値の生産を拡大し、人類は劇的な生産性向上を手にしたといえる。

そして今日、IT(情報技術)やAI(人工知能)を活用する第4次産業革命を迎えたというのである。その背景にはもちろん生産性の向上があるが、今日的潮流として価格競争・人材・労働力不足・新商品の開発などが挙げられ、IT等の活用によって変われる中小企業、地方企業にビッグチャンス到来、対応によって日本も

世界をリードできるというのだ。

身近の具体例

10月中旬テレビの特別番組が、わが町に本社のある上場企業ニホンフラッシュ(株)の新商品開発、製造システム改革等先進的な取り組みを放映していた。伝統と実績を誇る優良企業が、ITを活用してさらに「独自のものづくり」を目指している。

過去10年間つくり続けたドアのノウハウをサーバーに投入し、IT技術を駆使して職員の技術をデータ化し、若者の誰もが匠の熟練技術を使って加工できるシステムを導入、1年間で10万ドアの生産が可能となった。これによって人材不足を克服でき、とことんコストダウンが図れ、何よりも高付加価値を高めオーダーメイド(特注品)を安く提供できるのだという。大学の先輩でもある高橋栄二社長は「あなたの好む希望のドアはどういうものですか」とお客様に聞き、その願いをデータ化された匠の技、勘までも駆使して望みの商品を作るのだと頼もしく笑顔で語る。落書きをキレイに消

せるドア、ペットが自由に出入りできる開閉式の窓をつけたドアなど新商品を紹介していた。

こうした高橋社長の英断と実行力は、これまで一貫して取り組んできた同社の方針であった。同社創業50周年記念誌によると、1964(昭和39)年創業・揺籃期から10年ごとに、雌伏期・邁進期・飛躍期・グローバル期に分けて生生発展してきている。新商品開発と国内営業拠点整備の後、中国昆山市への工場進出、続く青島・上海・江西へと日門建材有限公司を設立、ついに中国売上高が日本のそれを上回る実績を上げてきた。社内にあつてはIS

O9001認証取得、お客様視点の効率第1の製造ライン構築、社員養成と中国人スタッフの国内研修、それらの人たちが中国各社の責任者となり現地採用社員と共に現地工場を動かし営業活動をする等々、常に気配りと先進的な取り組みを展開している。私も地元市長として上海・青島の現地工場を訪問、そのスケールと現地政府や人々の期待感を肌身に感じて大いに感動

したものである。第4次産業革命の旗手が足元のわがまちにあることに誇りを持つとともに、社史にある「石の上にも50年」の決意が今後長く継続するよう期待し確信する次第である。

もうひとつわが郷土では、神山町と那賀町において、AI(人工知能)を搭載したドローンを活用して宅配サービスを提供する試みが始まっている。テストフライトとさらなる検討が続けられているようである。

少し遠くなるが私が学生時代に下宿していた東京都の下町近くにある江戸川区に新しい動きがあることを知った。かつて中小企業や工場が林立していた地域の中から、「つながる町工場プロジェクト」が動き出しているとのこと。「安く技術力を導入することを狙ってチームを作り、タブレットで3つの工場の作業を管理し、これまで各部品製作調整のために予備日を置かざるを得なかったムダを省く試みだ。それはチームを作って議論し知恵を出し合い、必要経費を分担しITを導入し試行しながら互いに大きくなるという狙いである。

つまり現在は大企業―下請―孫請という縦のつながりから、IT技術を活用して横につながる中小企業を指そうというのである。

少し趣きは違うが隣県高知でも新しい動きがある。木材需要の高まりを見越して、集成材(CLT)製造メーカーを育成しようとする山林県高知ならではの目論見である。高度経済成長期に植林された木々が今まさに旬を迎え、尾崎知事のリーダーシップの下、産官学一体となった集材製造によってCLT時代の先駆けを目指す。オーストリア製のタワーヤードという約6千万円の機器を導入するなどコストダウンの構造改革を行い、人工的な集材からの脱皮を図ろうとしている。既に岡山・愛媛両県ではCLT工場が稼働しているという。IT技術をあらゆる面で取り入れているようだ。

事も創意工夫の時代と言えそうだ。

わが国の現状

以上のような先駆的な動きもあるが、現在のわが国の現状はどうかという点、第2次産業革命の果実の上に、第3次産業革命で進化したIT技術によりコントロールされている状況といえるだろう。基本技術は第2次産業革命の電力に依存しているのが現状だろう。わが国ははじめ先進訪問では、夜寝る時も昼働き学ぶ時も電気製品を使い、電車で移動し煌々と蛍光灯やLEDで照らされ職場で働き所得を得て、電気で照らされた教室で教育を受ける。第2次産業革命の成果である電気エネルギーなしでは、仕事することも学ぶこともできない。第3次産業革命で進化したITも基本的には電力に依存している。

供給能力の拡大であり、供給能力とは需要も満たすためにモノやサービスを生産する力、即ち国家の経済力そのものといえる。生産活動はサービスを含む消費財や資本財に関する需要を満たすために行われ、人々は自らの労働を提供し、資本や技術を活用する生産活動に従事し、消費財や資本財を生産し所得を得る。その得た所得で自らもモノやサービスを購入し、消費・投資目的でおカネを支出、新たな需要を創出するというのが経済サイクルだ。

加うるに、先進諸国を中心に人口減少・少子高齢化がもたらす生産年齢人口の減少傾向が、第4次ものづくり産業革命を加速させていると見ることができ。即ち、人口減少を否定的にとらえる人が多い中で、識者はこの現象を真逆にとらえて技術大国日本が世界をリードするチャンスだという。つまりわが国は生産年齢人口の減少を補うための技術投資を今こそ積極的に目指すべきだといえる。

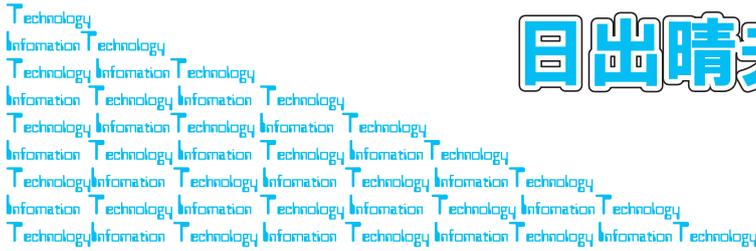
技術投資

私がかつてJST(独立行政法人日本科学振興機構)の後評価委員を務めたことがある。そこで知り得た日本の科学技術研究費のデータを思い起こすと、2014年の研究費は約18兆9千億円(前年比4.6%増)、その支出源別の内訳は民間が約15兆5千億円で全体の約8割を占め、対する政府や地方自治体が約3兆5千億円程度であった。企業の研究費はやはり資本金100億円以上が7割強を占め、中小企業や地方企業は少ない。政府の研究費は過去10年ぐらい約3兆3千億円前後で推移、国別に見るとアメリカは日本の3倍強、中国は日本の2倍弱と記憶している。

日本の技術開発の主役は民間企業、しかし民間企業は儲かる需要が存在しなければ技術開発に投資しようとしにくい。投資には失敗のリスクが伴うのだから当然である。

成長産業・地方創生

日本の期待される生産産業候補は何か、地方産業と地方創生をどうコーディネートするのかが今後の課題であろう。その視点から成長可能性の高い産業分野を考えてみると、介護・医療・保育・農業・運送そして防災事業・インフラ整備事業などが考えられる。これらはいずれも現時点では人手不足に悩む分野・ヒトが動かざるを得ないサービス分野だと気づく。人手不足を解消するための生産性向上を実現する技術関連の産業分野もまた成長が期待できる。まさに地方にこそシーズがある、ニーズにつながる可能性がある。地方創生の活かしどころだと言えそうだ。



日出晴夫の

ITな話



日出 晴夫

中小企業診断士。阿南市在住

<http://www.facebook.com/haruo.hinode>

新しい年です。

いよいよ新年になりました。明けましておめでとございませう。

当ページの後半の囲みが今年の自作年賀状です。直接、お会い出来ない読者の皆さんにこの誌面をお借りして新年の御挨拶を行いたいと思えます。

その年の「十干」「十二支」のサイクル理論に拘るというスタイルを取って数年になりました。六〇年をひとつの循環として新年の思いを語り続けて来た訳です。

思えば、人生の一循環としての六〇年が、いつの間にか経過してしまいました。

謹賀新年

本年は、「十干」では丁（てい）、言換えると火（ひ）の陰（と）で（ひのと）。「十二支」では酉（ゆう、とり）、合わせて、丁酉（ていゆう、ひのととり）となります。干支の第34番目の組み合わせです。

現在、「HAL'sメソッド」のブラッシュアップに取り組んでおります。新たな地平に立つべく精進中です。

昨年はお世話になりました。本年もよろしくお願い致します。

2017. 1. 1



未だに、気の残滓に苦渋の汗を掻くことが多い日々が続いております。本年こそは、清明なる境地に辿り着きたいとの思いに駆られております。よろしくお願い致します。

成十三年の四月でした。それから一六年が経ったということです。その間、休稿はありませんでした。昨年の号でも触れたことですが、「自分を褒めてあげたい。」というのは思い上がりでしょうか？

昨年、年賀状では、当時、執筆中であった「地方創生とエネルギーミクス」という書籍について触れていました。当出版事業は、お陰さまで、増刷ということになりました。

HAL'sメソッド

感謝、感謝です。

本年は、「HAL'sメソッド」をメインの賀状テーマにしています。当誌の昨年二月月号では、その手法の具体的手順も解説させていただきました。

では、その手法で、どのような成果が得られるのでしょうか？具体例を御披露したいと思います。

(株)キタウチさん

事例企業を紹介します。創業より66年。建築資材を企画製造販売、主に和室造作材を中心に神棚、床柱、床の間、天井、欄間などをハウスメーカーなどに販売してきた企業です。現在は、津田海岸町に本社を置かれています。

私とは、前職の信用保証協会勤務の時代よりの10年以上の交流があったものである。平成二六年六月一〇日、よろず支援拠点開設を知った代表者が事務所へ来訪いただいたことが、その後の支援の契機となったのです。

その後、不定期ではあるが、

来訪していただき、ディスカッションにて経営方策、事業推進策の立案、加えて、具体的な支援施策の紹介等が続けてきたものです。

現状の事業としては、銘木製造業の傍ら、副業にて、神棚等の製造中でした。これの試作品は、平成二四年徳島商工会議所ビル新設の際に会長室に寄付済みです。(参照、後掲のレジメ、下段中央写真)。これは前代表者(故人)の思いでもあったとのこと。

元々、神棚・社という製品は、銘木製造の中で必然的に発生する端材を活用しようという試みより生まれたものです。それらが、中高年層だけでなく若年層よりの、引き合い・受注も思ったより多く、継続的な製品化を企画する契機となったのです。

その過程で、開発されたのが、壁掛け式の神棚、「神ノ戸」です。(後掲レジメ、下段左右)近年の新築需要に対応する中で開発が進んだものです。販売促進策として、商工会議所の持続化補助金

も活用することが出来ました。代表者の希望もあり、知的財産相談窓口も利用し、商標登録も済ませました。

それらの実績が評価され、昨年二月、よろず支援拠点の事例紹介セミナーでも講演していただきました。(左図)ありがとうございます。

更に、私自身、最近、興味深々で見ているのが、出雲様式の「社」(後掲レジメ上段、左右)です。代表者の発案で開発された社です。神棚とは言うものの、古代ロマンに満ちています。

暦、干支、神棚、社、今年も一年、楽しくコンサルティングができて、幸いです。



代表者 北内啓夫氏

「神ノ戸」は人生の地平を拓く



神ノ戸

神ノ戸

最近の県内景況

景気は足踏みで推移

資料提供：財団法人 徳島経済研究所
「徳島経済レポート」より

概況

最近の県内景況をみると、雇用環境や公共投資が堅調なものの鉱工業生産や個人消費、住宅投資が力強さを欠く動きが続くなど、景気は足踏みで推移している。

鉱工業生産指数

8月の鉱工業生産指数は、108.2(季節調整済)で前月比0.5%の上昇、原指数は前年同月比2.3%低下となった。その内訳をいうと、上昇したのは全15業種のうち8業種で、金属製品(62.8%増)、プラスチック製品(18.8%増)、はん用・生産用・業務用機械(18.0%増)などであった。一方、低下した業種は、輸送機械(11.2%減)、食料品・飲料・飼料(6.4%減)などであった。

大型小売店販売額

9月の小売商況は、20日の台風や天候不順の影響に加え、前年5連休だったシルバーウィークが今年は日並びが悪く、休日も1日少なかったことなどから客数が伸び悩んだ。また、気温が平年より高く推移した影響で秋物衣料なども低調な動きとなった。

乗用車販売

9月の乗用車販売は、登録台数(軽を含む)は2,328台で前年比6.7%の減となった。内訳は、普通車が703台(前年比0.9%増)、中小型車(5ナンバー・1500cc超)は75台で同17.6%減、大衆車(1500cc以下)は、613台(4.4%減)、軽は937台(同12.2%減)であった。

企業倒産

9月の企業倒産は2件で、負債総額負債総額は2億20百万円であった。業種は製造業、運輸業が各1件であった。民事再生手続き開始を申し立てた企業はなかった。帝国データバンクの調査では、1件で総額は40百万円であった。

消費者物価指数

9月の消費者物価指数は100.4で前年比0.2%低下、生鮮食品を除く総合は100.2で前年比0.1%低下であった。

住宅投資

9月の新設住宅着工戸数をみると、総戸数は、前年比1.1%減の350戸になった。利用関係別では、持家は前年比5.8%減の178戸、貸家は同横ばいの156戸、分譲は同77.8%増の16戸であった。

公共工事

9月の公共工事(西日本建設業保証徳島支店調べ)をみると、請負金額は153億57百万円で前年比49.2%の増となった。発注者別にみると、「国」は前年比31.1%減、「県」は前年比34.1%減、「市町村」は同88.2%増であった。

雇用関連(求人)

9月の有効求職者数は12,087人で前年比0.2%減、有効求人数は16,508人で同10.4%増加、有効求人倍率(季節調整値)は、1.34倍で前月比横ばいであった。また、新規求人数(一般、パートを除く)では、3,530人で前年比で9.7%増加した。内訳は、製造業、学術研究、専門・技術サービス行等が減少するなか、卸売業、小売業、医療等で増加した。パートの新規求人は前年比20.9%増加の2,917人であった。

雇用関連(勤労統計)

8月の毎月勤労統計(5人以上の事務所)によると、常用雇用労働者(産業計)は100.4で前年比0.3%上昇、現金給与総額(産業計)は90.6で同1.2%低下、また、所定外労働時間(製造業)指数は111.2で同4.1%低下となった。

金融

日本銀行徳島事務所によると、8月の民間金融機関貸出残高は、全体では14ヶ月連続で前年を上回った。この間、貸出約定平均金利は、前月比低下した。預金については、4ヶ月連続で前年を下回り、前年比0.5%減となった。

県庁だより



徳島県

※市外局番(088)を省略しています

資格・試験

●平成29年度自治医科大学(医学部)入学試験
【とき】1月23日
【ところ】県庁11階講堂
【申込期間】1月4～18日17:00
【問】県医療政策課
(☎621-2738、FAX 621-2898)

●平成29年度臨時的任用職員選考試験・身体障がい者を対象とした臨時的任用職員選考試験
【とき】2月5日
【ところ】徳島大学総合科学部
【申込期限】1月27日
【問】県人事課
(☎621-2358、FAX 621-2825)

●測量士・測量士補試験
【とき】5月21日
【ところ】香川県ほか13か所
【申込期限】1月31日
【問】県用地対策課
(☎621-2528、FAX 621-2865)

●危険物取扱者試験(乙種第4類)
【とき】2月19日
【ところ】徳島県JA会館
【願書請求先】消防試験研究センター徳島県支部、各消防本部、勝浦町役場、上勝町役場、佐那河内村役場、県消防保安課

【申込期間】1月6～13日(電子申請:1月3日9:00～10日17:00)
【問】消防試験研究センター徳島県支部(☎652-1199、FAX 652-1282)

講座・講習

●手話通訳者養成講座(実践課程)
【とき】1月16日～2月27日(全11回)
【ところ】県立障がい者交流プラザ、吉野川市鴨島公民館
【対象・定員】手話通訳者養成講座Ⅱ修了者など・20人
【テキスト代】1,441円
【申込期限】1月11日
【問】徳島県聴覚障害者福祉協会(☎・FAX 631-1666)

募集しています

●とくしま目宝箱
県政へのご意見・ご提言を募集しています。投稿は、県ホームページ「県民からの提言」のほか、各総合県民局などに設置のはがきでも受け付けています。
【問】県監察課県民ふれあい室(☎621-2096、FAX 621-2822)

●徳島県立総合大学校運営協議会委員
【任期】発令の日から2年間
【募集人数】2人
【応募資格】県内在住の満18歳以上

【応募方法】指定の応募用紙と「徳島県立総合大学校での学びを進めるために思うこと」と題した800字の作文を1月13日までに県立総合大学校本部へ郵送
【問】県立総合大学校本部(☎612-8801、FAX 612-8805)

お知らせ

●徳島東部都市計画道路(阿南鳴門線、川内線)の変更について
【公聴会】1月11日14:00～
【ところ】県徳島合同庁舎
※変更素案に対し意見を述べたい人は1月6日までに公述書を県都市計画課へ提出してください。公述の申し出がない場合は公聴会を中止します。
【問】県都市計画課(☎621-2565、FAX 621-2869) 県高規格道路課(☎621-2670、FAX 621-2872)

催し

●食品に関するリスクコミュニケーションの開催について
消費者、有識者、事業者、行政担当者等が一堂に会し、健康食品の安全性などの知識を共有するとともに、健康食品と上手に付き合っていく方策について意見交換を行います。
【とき】1月15日13:30～
【ところ】とくぎんとモニプラザ
【申込期限】1月10日

【問】県安全衛生課(☎621-2110、FAX 621-2759)

●国谷裕子氏講演会「女性が活躍できる社会を目指して」
【とき】1月28日13:30～
【ところ】徳島グランヴィリオホテル
【申込期限】1月18日
【問】県産業人材育成センター(☎621-2352、FAX 621-2852)

●精神科医によるこころの健康相談
【とき】毎月第1・3木曜日、第2火曜日、第4金曜日(要予約)
【問】徳島保健所(☎602-8905、FAX 652-9334)

ご意見募集

●オープンとくしま・パブリックコメント
現在、次の意見を募集しています。
◆徳島県企業局経営計画(案)
【応募期限】1月11日
【問】県企業局経営企画戦略課(☎621-3256、FAX 621-2877)
◆第12次鳥獣保護管理事業計画(素案)、第4期徳島県二ホンジカ適正管理計画(素案)、第4期徳島県イノシシ適正管理計画(素案)及び第2期徳島県二ホンザル適正管理計画(素案)
【応募期限】1月20日
【問】県生活安全課(☎621-2262、FAX 621-2979)

Uターン人材情報

平成28年12月末日現在

問い合わせ先…徳島駅クレメントプラザ5階

とくしまジョブステーション Tel 088(622)6361

登録番号	希望職種	職歴	資格・免許・経験等	希望勤務地	性別	年齢
------	------	----	-----------	-------	----	----

【営業・販売・サービス業】

2491	営業(海外)、管理職(交代勤務可)	航空会社の操縦士、海上自衛官	普自免、事業用操縦士免許	徳島市、名西郡	男	42
------	-------------------	----------------	--------------	---------	---	----

【コンピュータ関係】

2631	ネットワーク・モバイルエンジニア(交代勤務可)	無線機器の設置サポート、検証試験	普自免、CCNA	徳島市、板野郡	男	33
2668	システムエンジニア(交代勤務可)	Windows Server構築、大型交通系予約システムの構築、旅行系システム設計	普自免、中型自二輪免	徳島市、鳴門市	男	37
2670	IT系の管理職、英語翻訳業務(交代勤務可)	IT企業でマーケティング管理職、経営企画、IT技術管理職、技術職	ビジネス上の英語は問題ありません	徳島市 阿南市その周辺	男	59

【事務】

2629	事務職(現場業務は希望しません)	物流関係(貿易事務)、輸出に係わる事務業務	普自免、TOEIC 600点	徳島市	女	31
------	------------------	-----------------------	----------------	-----	---	----

【その他】

2630	防災関連業務(行政NPO等)、配送ドライバー	配送業(ドライバー・トラックで青果配送)、製造ラインオペレーター	大型自免、防災士、防災関連職種経験あり	美馬市、阿波市 吉野川市	男	55
2665	警察官、消防士、救急救命士、警備員	看護助手	普自免、自二輪免、健康運動実践指導者 剣道初段、柔道初段、弓道二段	徳島市、鳴門市	男	22



office空と海
平井 吉信

中小企業診断士

平井吉信 コーナー

今年も盛況だった2016とくしま創業塾

平成28年10月から12月まで全10回で開催されたとくしま創業塾は、平日の夜18時30分から21時という時間帯で行われた。毎回多数の受講者に支えられて本日が最終回となる。

以前は創業の業種は飲食店が多かったが、ここ数年はサービス業や社会性を打ち出したコミュニティビジネスやソーシャルビジネスの立ち上げを意図されている方が増えている。コモディティ化の流れで単なる物販では小資本では勝ち目がないことを肌で感じているのだろう。サービス業として、目に見える実態を伝えるにくだけに約束ごととその発信が重要になる。

参加者の創業ステージはさまざま。創業が目前に迫っている人、いまは他で生計を立てているがいずれは独立を目標とする人、やりたいことはあるが、どのようにして良いかを模索している人。意外に多いのはすでに創業している人、既存事業の新たな展

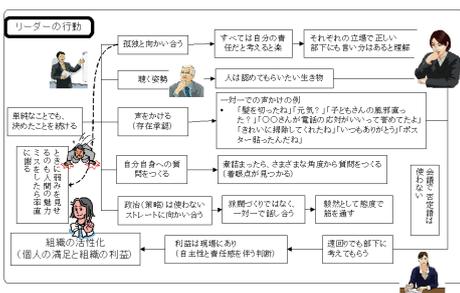
開(第二創業)を考えている人が創業塾の場に参加していることが多いこともここ数年の傾向。

カリキュラムは昨年からさらに進化させている。およそ創業塾とは資料やレジュメが使い回せるぐらい、どこで誰が講師をしても似たような内容となつていているが、私の創業塾は違う。

- 第1回「いまの時代を見つめる」
 - 第2回「自分の立ち位置を見つける」
 - 第3回「理念とコンセプトが共感をつなぐ」
 - 第4回「世界観、その伝え方」
 - 第5回「顧客を獲得する考え」
 - 第6回「仮説と検証」
 - 第7回「収支計画と身の丈の資金計画」
 - 第8回「発信とWeb戦略」
 - 第9回「運営とマネジメント」
 - 第10回「ビジネスモデルの磨き上げ」
- 創業計画書を埋める作業や経営理論の紹介など

は行わない。はたまた、創業の心構えなどを上段に構えても絵空事に聞こえる。むしろ、脂の乗りきつた企業経営者や実務担当者にも参考となる実践的な内容をめざすとともに、参加者は生徒ではなく思いを持ったひとりの人格として、教える、教えられるの立場を越えたいと考えている。

内容については、理念から出発することの大切さ、コモディティ化が進む時代において「世界観」を打ち出す重要性、成熟社会で大企業でも見出せなかった新たな市場、競合のない「青い海」を探すこと、リーダーシップや人を活かすこと、心理学や生物学(大



脳の科学)なども交えて最新の知見をお伝えしている。

アフィリエイトやSNSの話題提供も避けて通れない。今年度は「ソーシャルメディア」の活用事例からコミュニティビジネスやソーシャルビジネスのみならず、思いを持った起業に参考となるよう留意している。SNSは活用法と留意点を伝えることはもちろんだが、負の側面や経営者の時間の使い方、視点から個人のFacebookはしないほうが良いとも伝えていく。

インターネットの活用については、1ページだけのWebサイトを作成して年間数千円(独自ドメイン+レンタルサーバー)で運営することを奨めている。ここに理念や連絡先、業務内容などの定番情報を掲載する。SNSだけのインターネットでの発信を行う事業者は少なくないが、それは事業所としての信用性に欠ける(いつでも廃業するのではないかと

う)。また、セキュリティが強化された企業ではインターネット接続でSNSにアクセスできないこともある。そのために不可欠なのが公式Webサイト。更新情報は公式Webサイトからリンクさせたブログの活用を勧めている。津波の際にTwitterが役立つようにSNSはタイムリーな情報を発信するところでの活用が効果的だ。

しかしインターネットでの情報発信は目の前を通り過ぎる通行者にはアピールしない。そこで、SNSと店頭との連動させる方法も提案した。これは飲食店が使う黒板メニューを応用したものが、オンラインと実店舗(会社)を融合させる考え方もある。

根底にあるのは、専門性や個性を訴求して広域からの集客をめざすことと、人口が減少する地元市場において地元密着による社会貢献の両立を可能とするやり方が必要と説いており、その具体策が

今回の創業塾で得られるなど、企業経営者が聞いても参考になる内容を心がけている。

スターティングにおいては、精緻な計画よりも仮説と検証から磨き上げること、主眼を置いて身の丈で始めることの優位性を説いた。

さらに、資金繰り表の作成や予算実績管理、清掃やロールプレイングなど地道だけれど大切なマネジメントの実務も解説。これは私一人で企画、営業、渉外、広報、コンテンツ作成、旅程の手配、健康管理、計数管理、請求業務、会計、施設や機器の保守、清掃まで担うことから現実感を持つてお伝えできた(時間の関係で割愛した内容も少なくないので、いつか完全版をやってみたいところ)。問題解決のための論点思考などはさらに掘り下げたかったところだが。

参加者以外のオブザーバー、飛び入りがあるのも今回の創業塾の特徴。前年度に受講されて創業に至った人たちが次々と顔

見せにやってくる。体験談を語る。また彼らもこの場のエネルギーに刺激をもらい志気を高めているようだ。

最終回には希望者に発表してもらおう機会を設けるとともに、主催者である徳島商工会議所のご好意で終了後に会場で食べ物それぞれが持ち寄って創業塾卒業サロン(懇親会)を行う予定である。盛り上げたのは講師の

力というよりは参加者の熱意である。参加者が討論する時間を毎回設けたことで参加者同士の交流や歓談を楽しみに参加する人が増えたこともねら

Twitterから店頭のディスプレイに発信して集客

 <p>試作品で悩んでいます、みなさん助けて！</p> <p>クレープの「ふわふわザン」では、先生のラズベリーを使ったミルタクレープを開発中。</p> <p>お楽しみ、試食して感想聞かせて(無料)！</p> <p>アンケート付なので50名様限定、4月5日 10時スタート</p>	<p>正直なだけじゃなく、楽しみが持てる。女性が多いとされる「限定」「無料」の打ち出しも効果的。試作によるテストマーケティングと販売後の口コミを期待したもの。</p>
 <p>瀬戸内の良いおメールが入りました</p> <p>ほくほく上品な食感がいい感じ。内職もお出しできます。</p> <p>秋田の幸口純米の秋田〇〇かフルーティーな福岡〇〇で〜おいしいが？</p>	<p>地元の特産品を売りにする原動力のメニューは目撃わりで変わる。それに磨かれて来店する客はいるが、原動力では日本の情報発信はほとんどできていない。まれにSNSをやっている店主がいたとしても、来客者には伝わらない。そこで店頭などでのデジタルサイネージが効果的。</p>

いどおりであった。毎回、6人のグループで討論する時間を設けたが、時間が足りなくて参加者の物足りなさそうな顔が印象に残る。3時間半の長丁場で休憩は取るけれど下をうつむいている人や眠っている人は皆無である。わかりやすく伝えるカリキュラムは毎回の参加者の反応を見ての手作りである。既読感のあるアイデアではなく、自らの考察を交えた生きた経営論や地域で生きていく、事業を行ううえで教科書に載っていないノウハウや着眼点を盛りこんだ(図解参照)。

紙で配付できず画面のみで紹介せざるを得ない生の情報や文字では伝わらない表現は動画を交えて活用。

生きる途を求めて創業することは、生き方を輝かせるとともに、事業所の新陳代謝から未来を生む原動力となる。創業塾から羽ばたこうとする人々のご健勝、ご成功を祈念しつつ2016年のペンを置く。



ドクター板東の メデイカルリサーチ

Vol. 134

～固い石 ペルーの文化 基となり～

<http://pianomed-mr.jp/>

安倍首相は国際舞台で活躍している。夏には、ブラジルのリオで開催された五輪の閉会式に、マリオとして登場。秋にはペルーのリマで、アジア太平洋経済協力会議(APEC)や環太平洋連携協定(TPP)にも出席された。

不思議なことに、私も首相と同じように、リオとリマを訪れたのである。ただ、異なるのは、私には特別のミッションなど何も与えられておらず、世のためにお役にたつていないことが挙げられよう。

今回は、ペルーについて若干触れてみたい。

ペルーのリマ

羽田空港を出発して25時間でペルーの首都リマに到着した。日本との時差は、マイナス14時間だ。南米では、リオやサンパウロと並ぶ南米のゲートウェイで、人口約890万人を擁する(図1)。

リマには、かつて植民地だった時代の文化と近代文化が共存し融合している。



図1

空港でオフィシャルタクシーを申込み、胸に名札をつけた係員が英語できちんと対応。「OK、それでは出発!」と彼自身が運転手とわかり、心安いだ。

新市街まで30分走り、近辺まで到着。地図をみせても、24時間営業のスーパーマーケットの隣だと説明しても、迷うばかり。

結局あまり地図を参考とせず、道行く人に尋ねながら到着できた。

ペルーの文化

私が外国出張に出かけると、必ず訪れるのはその国の博物館である。



図3

今回も早速ペルーの歴史や文化を拝見させて頂いた。面白いと感じたのは、人や動物の姿をうまく捉えた作品が多いこと。それも、英語圏のヨーロッパとは



図2

異なり、線が太く、身体も太く、土台や基盤がずっしりと重たい。人物や動物の描写は誇張する特徴などもみられた(図2、3)。

歴史的に、当地の文明はメソポタミア・中国・中部アメリカの影響により形成されたらしい(図4)。さらに、海路ルートによって、欧州やアフリカの様々な芸術文化が働きかけた可能性もあるだろう。

以上があわさって、ペルーの山岳地帯で高いレベルの文明が栄えたとは驚きである。

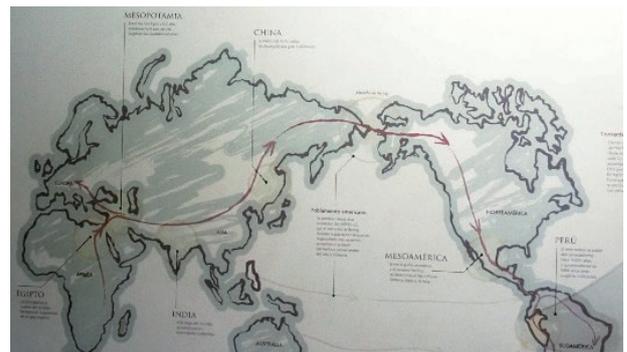


図4

クスコ

かつて、ペルーにはインカ帝国があり、首都はクスコだった(図5)。クスコとはケチュア語でヘソを意味する。太陽神を崇拜した人々は世界の中心だったのだから。

16世紀、スペインの征服者たちがインカを山奥の地に追いやった。そして、インカの礎石の上に、スペインの教会や邸宅を建造すること。このコントラストが文化的価値を生み、ユネスコの世界遺産にも登録されたのである。



図5

ペルーは石の文化が特徴である。サクサイワマン遺跡では、巨大な石が隙間なく積み重なっており、驚くべき石組みの技術だ。中には高さ7m、120トンの巨石も含まれる。

実は、私がここで小高い丘を昇ったり降りたりしたとき、身体に普段と違う違和感が。それはなぜだろうか。次で述べてみたい。

山岳の列車

ペルーにはアンデス山脈などがあり、山岳地方といえる。首都のリマは標高150mだったが、クスコは標高3399mと富士山



図6

の高さに近く、高山病のリスクがある。

私は前もって特効薬ダイアモックスを持参し、クスコに到着次第すぐに服用していた。ゆっくり動くように心がけていたのだが、やはりいつもよりすぐに倦怠感を感じた。

クスコから標高2000mのマチュピチュ駅に行くには、距離約110kmを走る特別列車・PeruRailがある(図6)。険しい斜面を登坂降坂するため、途中にスリットトラックもあつた。これは箱根登山電車のように、途中で進行方向が変わり線路がジグザグになっているものだ。



図7



図8

本列車はなかなか洗練されており、列車の中で、美味しいお茶とお菓子、また、歌と踊りなどアミューズメントなども含まれている(図7)。私は数ヶ月前に、インターネットで予約し、直前にペルー国内で切符を入手でき搭乗できた。

マチュピチュ

マチュピチュ駅からバス標高2400mのマチュピチュに向かう。実際にマチュピチュに足を踏み入れてみると、ようやくその実像が分かってきた(図8)。

雨が極めて少ない高山気候で、すべての建物は石を積み重ねられたもの。住居がこんな風に作られるとは驚きだ。日本の木の文化とは全く違う(図9)。



図9

こんな天空の街が生まれた謎とは？ 様々な固い石について柔軟に考えてはみたがわからない。ただ、少なくとも一部は宇宙人が関わっているかもしれないと推理してみた。あなたはどうか。思うだろうか。

(板東浩、ばんどうひろし、医学博士、糖尿病専門医、ピアリスト)

松下幸之助に学ぶ!!

『人間の心』

第二回

文・全国PHP友の会

会友 梶浦 洋一

(徳島PHP友の会顧問)

(H/PPHAG&

『菜根譚の会』世話人)

新年あけまして

おめでとーございます

世の中は、どうやら今年から【大きく変革する時】を迎えたようです。

西年なので、みんなが平和で

幸福な青い鳥を呼びこめる

ような年にしたいですね。

さて、今月いよいよ米国新

大統領に共和党の実業家

ドナルド・トランプ氏が就任

する。

昨年未まで安倍首相は

政府専用機を駆使し、地球

儀を俯瞰する感覚で、世界

各国を巡り、D・トランプ氏

をニューヨークに尋ね、意見を

を交わすなど多くの国々と

の外交に腐心した。

特に、年末にはロシアのウ

ラジミール・プーチン大統領

をわが国に招き、懸案の『平

和条約締結問題』をはじめ、

『領土返還問題』、『人的交

流と経済交流』など非常に

多岐にわたる厳しい問題の

打開に着手した。

ついで、安倍首相は、「ご自

身がD・トランプ氏訪問に走

ったこと」へお冠?のハワイ滞

在中の米国オバマ大統領を

訪ね、【七五年前にハワイで惹起した両国犠牲者への慰霊】と米国オバマ大統領との【最後の会談】を終えた。実に外国出張の多い労多き年ではあった。

しかし総じて、これらに

国民評価は決して甘くない。

さて、これからTPPをは

じめとした『自由貿易か

【保護主義】か』の問題など、

今年も数多く外交でのせめ

ぎ合いが開始されるが。た

だ、約束の時間を守れない

ような人物は、『誠意が見

えない、信用できない人』と

評価されるのが通常である。

世界経済の進展を期待

する者としては、年初からバ

タバタと羽ばたく西年を迎

えて、気ぜわしくなっている。

ここらで松翁の話に戻そう。

礼を失してはいけない

先月号後半部分で、

【松下幸之助の新しい人間

道】に触れ、『礼の精神』の解

説もしたが、松翁の『礼』に

ついてのエピソードは数多い。

いくつかの事例に触れてお

こう。(一年前の平成二十八年二月新春号PHP誌に紹介された話から)

●『販売会社との懇談』

での話

昭和三十九年、熱海のニユー

フジヤホテルに全国の販売

会社・代理店の社長を招いて

懇談会が開かれた時のこ

とである。前日、会場を下

見した松下幸之助は、出席

者が胸につけるリボンを目

にした。そして自分のリボン

がひととき大きいことに気

づく。

「大事なお得意様より私の方

が大きいのは失礼ではないか

か」と担当者を叱り、取り

換えるよう指示をした。幸

之助は、誰に対しても、どん

な場合でも礼儀礼節を重

んじ、礼を欠くような態度

を厳しく戒めていた。

●『礼儀は人間だけのもの』

幸之助より二十歳余り

年下で、生前、親交のあった

元大学教授は、幸之助を

『きわめて礼儀正しく、行

き届いた人』だったとして、

次のようなエピソードを披



露している。

「雑誌の企画で幸之助と対談することになっていたが、幸之助が体調を崩し、入院してしまった。当然、中止になると思っていたところ『以前からのお約束なので、おいでください』との連絡がきた。『無理されなくてもいいのに』と心配しつつ病院の応接室で待っているとスーツを着てネクタイをしめた幸之助が現れた。

「ガウン姿で結構です」とお断りしていたにもかかわらず、失礼にならないようにというので着替えておられたのだ。これが病臥中の人だろうかと思うほど、きちんとした姿であった」と、元教授は述懐しておられた。

幸之助は、「親しき中にも礼儀あり」というのが、これはいつの世にも必要である。礼儀は人間だけのものつまり礼儀を知らないのは人間ではないということだ」と述べ、また、次代のリーダー育成を目指して設立した松下政経塾の塾生に対しては、「日常生活では特に礼儀

に気をつけてほしい」と要望。「それにはまず、人に敬意を払うこと、人を敬すれば、自分も敬されるようになる」と説いた。

●礼を尽くす心は相手に伝わる

昭和三十八年のある日、東京の出版社の社長が、京都の真々庵に幸之助を訪ねてきたことがあった。美しい庭を眺めながら会話は弾み、帰りの列車時刻が迫り社長が辞したあと、幸之助は社員に「昼食はどうした」と尋ねた。「社長の秘書の方が『お話がすんでからで結構です』と言われたので待つておりましたが、お帰りを急がれたため差し上げられませんでした」と聞くや、こう言われた。

「それはたいへん失礼なことをした。すぐ京都駅へ行ってお詫びをしてきてほしい」

社員が駅に駆け付けたとき、社長はホームの端でひとり考え事をしているようであった。頭を下げて詫びると、「いやいや、いいお話を聞かせていただき、何よりのこ

馳走でした。これ以上お腹に入りません。松下様にくれぐれもよろしく」と微笑まれた。

相手に礼を尽くしてもてなそうとする幸之助の心がおのずと相手に伝わり、心の通いあいが生まれたのであった。

無形の資産

●信用は無形の資産だが一朝一夕では築けない

アチーブメント(株)青木社長と(株)P H P 研究所佐藤専務との問答は続く。

青木社長

「無形の資産についてもう少し深めたいと思います。無は有の原点だと考えると、私は富の本質は有形の資産ではなく、無形の資産だと考えます。この点について幸之助さんはどのような考え方をもちでいらつしやいましたか。」

佐藤専務

「幸之助の言葉に『信用は宝、無形の財産』というものがあります。信用はとても大事ですが、それは一朝一夕

に築けるものではありません。しかし崩れるときは一瞬にして崩れてしまう。だから信用を保ち続けるためには並々ならぬ努力が必要になつてきます。」

幸之助の場合、信用、信頼を維持し続けるために、絶対に不正なことをしませんでした。一例をあげると、戦後、電球がなかなか手に入らない時期がありました。公定価格は四円二五銭と定められていたのですが、闇市に持つていくと二〇〇円ぐらいで売れました。その値段だと電球一個で米一升買えます。

終戦直後のことで誰もが食料に困っていましたので、社員から電球を現物支給してもらつて、米を買いたいという声があがったのです。幸之助は社員の窮境を少しでも救えるならと、一度だけその要求に応じます。

でもそのあとが幸之助のすごいところで、以後はいっさい要求を受け入れませんでした。なぜかという、高い値段で売ると、本当にほ

しい人のところに渡らなくなるからだというのです。それと闇を助長させることになる。だから松下電器のやるべきことではないといつて、断固として拒否しました。いかにも幸之助らしいエピソードです。

あるいは同じころですが、規格外になった真空管の在庫がたくさんたまっていたことがありました。規格外ですから、販売してはいけないものです。でも物資が不足していた時期だったので、あるとき秋葉原から商人が来て、売つてほしいと言いました。

工場長は規格外でも売れるのなら、ということ、一〇〇万円在庫を売つてしまいました。というのも、当時松下電器はGHQ(連合軍軍総司令部)から制限会社等の指定を受けて企業活動がままならず、社員に十分な給料が払えませんでしたから…。ところが、この行為が幸之助の耳に入ってしまった。さて、そのあとが：?! (つづく)

むかし「局アナ」いま「隠居」
えらい人

1998年→



上田 博章(絵・文)

1933年徳島市生まれ 大阪府在住
 ■京都大学農学部林学科卒業
 ■元朝日放送アナウンサー
 ■元池田マルチメディア代表取締役
 ■講演、朗読指導など以外は隠居中



博多駅前のメインストリートに、あんな大きな穴が現れたのを テレビで見ても、地下工事の難しさを改めて痛感しました。

実は、友人に地下鉄工事のエキスパートがいます。京大の土木工学科を出て34年間、名古屋市の地下を掘りまくってきた名古屋市の交通局 もと、技術本部長の渡辺晴朗というお人です。彼に聞いたところだと、日本の大都市は、海沿いの扇状地が多いので名古屋も博多と同じく地盤が緩く、大学で習った地質学の他に、泥質学、泥水学というか：とにかく、泥や水と闘う日々だったそうです。

そんな渡辺さんが、去年送ってくれた『役人時代の回顧録』に、こんな箇所がありました。

「私が在職中、若い連中に常々言い聞かせていたのは、『全てを疑ってかかれ。特に偉い人(上司)の言うことは一度は疑え。そして最後に自分自身を疑え』...と言っていた」

上司である渡辺さんが、「ワシも含めて疑え」と言うのですから現場はさぞかし活気に満ちていたことでしょう。

地下鉄工事は 市民生活だけでなく、市民の命にも係わる重要な仕事です。工事を企画し、設計し、施工した人達が、この世を去ったあと 何十年もの間、市民の利便や安全の確保が必要なインフラを構築しなければなりません。

上意下達のイエスマンが、偉い人の言う通り、「ハイ、そうですか」と言っただけでは危険です。

技術的なことは偉ければ偉いほど判つたらん場合が多いですからねえ。

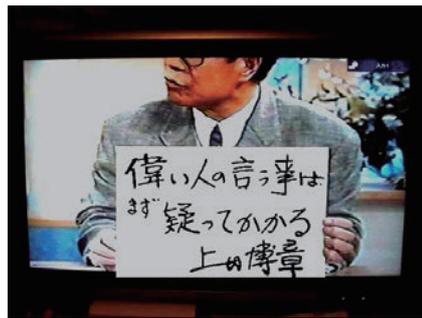
* 「偉い人の言う事は疑ってかかる...」

実は私も、NHKの徳島放送局で、同じ発言をした前歴(?)があるのです。

徳島のテレビスタジオで司会のアナウンサーから、「どういふ人がジャーナリストに向いてますか？」

と質問された私は、「偉い人の言うことは先ず疑ってかかる」と下手な字でフリップにこう書いて、「イエスマンは、ジャーナリストに向いてませんね」と答えていたのです。

こんなことがあったので、去年、渡辺さんの回顧録に接した私は吃驚しました。「全く同じじゃないか!!」



1998年 NHK 徳島「65歳の提言」

早速この写真を貼付して 次のようなメールを 彼に送ったのです。

「同感、全く同感です。実は、一九九八年に、故郷徳島で、NHKのテレビに出たとき、同じようなことを述べた証拠写真を添付します」

返信は直ぐ届きました。「貴君が、NHKで書いたフリップの文は昭和八年生まれの共通認識でしょう。これは昭和20年八月15日を境にして価値観が百八十度変わった体験と、名古屋市の交通局という、地方公務員、且つ、地方公営企業の職員として34年間で身に付いた感覚だったと思います」

渡辺さんも私も昭和八年(一九三三年)生まれなので、国民学校六年生のときに敗戦の日を迎えました。天皇陛下も永六輔さんも、菅原文太さんも、大橋巨泉さん(早生まれ)も、皆さん六年生のときに、価値観の百八十度 転換を体験しているのです。

その私達が65歳を迎えた一九九八年(平成10年)は、NHK 徳島放送局も、開局65周年を迎えたことから、「六十五歳の提言」と題する記念番組に何人かの同年齢にして同郷の後期高齢者が招かれて意見を述べました。私もその一人だったので。

この番組を収録するとき、ちよつとケツタイなことがありました。

スタジオに入って、さあ本番が始まるぞと思ったら、「リハーサルお願いします」「何だ？ ワシを素人扱いするのか」

無然としてリハーサルに付きあつたところ、

「スママゼーン、天皇の話はカットして頂けませんか」

どうやら私の発言の中で、「戦時中『天皇は神様だ』と国民学校で教えられた」

という箇所がいけないらしいのです。

以前、NHKの全国放送、「ラジオ深夜便」に出たとき、大阪放送局ではリハーサルなんかやりませんでしたし、戦時中の天皇神格化の話もそのまま放送されました。

(そうか、同じNHKでも地域により、人間によって自主規制の基準が違うんだ。小心者の出世を妨げるのも野暮なことだな)

徳島放送局の担当者は、どう見ても偉いさんとは思えず「疑ってかかる相手」ではなさそうです。

控えめな性格の私は、「ハイ、そうですか」

と 天皇の部分を削除し、「イエスマン」に変身しておきました。

*

天皇が「神様」だった時代、歌詞の中に「偉い人」という言葉が入った歌を一曲だけ知っています。

…といつても、戦時歌謡や軍歌のような感じではなく、幼い子供たちが歌っていた童謡といったような 他愛ない歌でした。

幸か不幸か、私は今でもこの歌が歌えます。

♪

東郷さん 東郷さん
東郷さんは「偉い人」

軍艦三笠のマストの上に

高く上つた信號旗

寄せ来る敵を滅ぼして

天皇陛下の御威光を

世界の人に見せました

言うまでもなく東郷さんとは、日本海海戦の英雄、東郷平八郎さんで、没後は神様になりました。

東京や九州に東郷神社があります。

私が局アナの頃、つまり、朝日放送の社員だった頃、秘書室長と一緒にゴルフをやつたことがあります。

室長は アナウンサーを芸人的な従業員だと思つて、いるフシがありました。



こちら、現場で番組作りを続けている人間からすると、中年のオッサンが、秘書を務めているのは、何となく痛々しく見えます。

私は聞いてみました。

「室長さん、秘書室勤務って、希望したんですか？」

「アホなこと言いなさんな。誰が秘書室勤務なんか希望しますかいな。そやけどな」

上田君、秘書室に来て吃驚したんはウチの偉いさんは

元気や。健康そのものやな。

やっぱり偉いなるお人は、

ボクらと違って丈夫やで」

「ボくら」と聞いてカチンと

来た私は持ち前の屁理屈を並べてしまいました。

「室長さん、それはちよつと違いますやろ。偉いさんはボくらと違って、ストレスがないのんと違いますか？」

わが社みたいな免許企業は

創業以来、赤字知らずで、

偉いさんは売り上げなんて

何も心配せんでよろしい。

会社へ来れば、御家来衆が

ニコニコ、ペコペコして、

逆らう奴は周りにいない。

つまらん冗談を言うても、

お追従笑いしてくれるから、

精神衛生上、きわめて良い

環境にあるわけで、そりゃ

健康な筈ですよ。室長さん、

早う重役になつて、健康な

生活を送つて下さいな…」

ちよつと言ひ過ぎました。

室長さんは黙つたままです。

こんなことを言うから、

「上田は生意気だ」

と言われるんでしょう。

*

「ストレスと ウイルスが

なかつたら病気になるらぬ」

とよく言われるのですが、

そもそも、通勤ラッシュは

ウイルス交換パーティーの

会場みたいな場所ですから、

運転手付きの車で通勤する偉いさんは「万病の源」と

言われている ウイルスに、

感染する確率は一般人より

遥かに少ないでしょう。

更に偉いさんは、組織の

大事な「お宝」ですから、

人間ドックなど、キツチリ

受けなければなりません。

大企業や優良企業の社長

さんが、

「忙しくて医者やドックに

行く暇がない」

なんていう話は、聞いた

ことがありません。

私が勤めた 放送会社の

歴代 社長は、皆さん揃つて

長生きしています。

*

定年後に頼まれて資本金

六億という小さなケーブル

テレビの「雇われマダム」を

三年ほど務めていましたが、

通勤は、ウイルス飛び交う

ラッシュの電車でしたし、

ちゃんとした人間ドックは

土曜、日曜が休みですから

在任中、受診する暇なんか

とてもとても…。

私が「偉い人」でなかった

ことは確かですが、何とか

長生きはしています。

徳島県立近代美術館企画交流室長
森 芳功の



美術の時間
エッセイ
的
な
書
き

美術をたのしむ、美術館をたのしむ

その103 第一印象がコミュニケーションの力で彩られていく

戦後日本画の人間表現

新しい所蔵作品展がはじまりましたが、その前の特集展示について触れていましておことうと思います。「戦後日本画の人間表現」です（担当は筆者）。

みなさんは、日本画というどのような作品を思い浮かべるでしょうか？ 美しい風景を描いた作品や美人画をイメージすることが多いのではないのでしょうか。二〇世紀の第二次世界大戦後に表された日本画を展示すると、お客さまから「これが日本画ですか？」とよく尋ねられます。変化に富んだ作品が生み出された時代だったのです。そのような表現の多様さをコレクションで紹介したのがこの特集でした。

たとえば、会場の入口近くに展示した下村良之介（よろこび）（一九五一年）は、終戦から五年ほど後に描かれた作品です。作品の上部には粗末なつくりのくすんだ家々、下の方には女性たちや赤ちゃんが描かれています。ただしその人物像は、細かな面で分割され、赤ちゃんの頭に至っては、ヘルメットか何かの球体のようです。

作者の下村は、京都市立絵画専門学校（現在の京都市立芸術大学）を繰り上げて卒業となり、兵士として戦場に送られました。復員してみると、大阪の実家が空襲で焼け、描きためていた作品も画材もすべてを失っていました。彼の戦後の制作は、焼け跡から、いわばゼロの地点から出発せざるをえなかったのです。それまでの価値観や次の時代の表現も、根本から捉え直す必要がありました。

（よろこび）は、そのような時代のなかで描かれた作品です。絵絹や和紙ではなくベニヤ板に描かれたのも時代の雰囲気を表しています。物資が乏しい時期だったとはいえ、日本画の材料への問い直しもあつたのだでしょう。

この特集は、下村の他、中村正義、三上誠、星野眞吾など、表現方法や技法、材料の面から、日本画とは何かを根本から考えた作家たちからはじまり、新時代の少女たちを表し日展で活躍した三谷十糸子、高度経済成長期の漁師一家を描いた大森運夫、世の中の悲劇を凝視し昨年（二〇一六年）亡くなった小嶋悠司など、時代を追うようにして展示しました。

九〇歳で初来館

このように終了した展覧会についてやや詳しく述べたのには、理由があります。実は、戦後の日本画のコーナーを観て「暗く感じた」というお客さまのアンケートを見つければ、それについて考えてみたくなったからです。同じような感想は、他の展覧会でもあつて気になつていました。人の好みは十人十色で、作品を見てどのように感じてみてもいいのはその通りなのですが、せっかく美術館に足を運んだのに、否定的な思いを感じて帰ることになっては残念です。

今回の特集では、清楚な女性を描いた上村淳之（姉妹）、活き活きした少女を表した三谷十糸子の作品なども展示しましたが、「暗く」感じた人は、実験的な表現や、心の奥を表そうとしたものに目がいったのでしょうか。「戦後日本」というくくりですので、大正末から昭和初期の理想化された美人画は含まれていません。しかし、「暗い」という感想がある一方、戦後の日本画には、次の時代を開こうとする画家たちが、若々しい情熱で表した作品が少なくありません。新しい時

代を求めるエネルギーが、見る人と共有された面もありました。それを「暗い」と感じるのには、どういふことなのでしょう。私は、「戦後日本画の人間表現」の時期に、高齢者の方を何度か案内する機会があり、このことについて考えさせられました。

お客さまのなかに、「お化けが見える」という方がいたので。話しかけられたとき、靈感が強くて見えないうものが見えるのかと、少し背筋を寒くしていると、人の形が变形されて描かれているところから感じました。しかし展示作品が、気味の悪いお化けに見えたのでは、なかなか楽しめませんね。

別の人からは、東京スカイツリーに登ったとき、「おとうさん、なぜお墓がたくさんあるの？」と尋ねたという話を聞きました。展望台から遠くまでビルが見渡せる光景が、一瞬広大な墓地に見えてしまったようなのですね。

人は何かを見るととき、それまでに見たもの、知っているもの、関心のあるものと結びつけて理解しようとして感じます。ですので「暗い」と感じた感想も、いくつもの印象を関連させて形づく

られたものと考えられます。もう一つご紹介したいのは、明るく楽しい話題で、老人ホームから団体で見学に来られた方々を案内したときのことです。ずっと立って見学すると疲れますので移動できる丸椅子を用意し、車椅子の人を含め一〇人くらいの方に対話を交えて展示解説を行いました。年齢を聞くと九〇歳前後、八〇歳代の人が多かったようです。美術館に来たことがあるかどうか尋ねると、初めての人がほとんどで、「一回来た」という人は、二六年前の開館記念展に来ていただいたようです。

作品の感想を聞くと、「難しいことは分からん」と何度も繰り返す人、「暗い」という感想の人もいました。しかし、画面をいっしょに見て、描かれているものを確認していくと、「子どもがおる」「お乳を



慶南道立美術館外観



伊原宇三郎の特集展示

やつとる」など見つけたものを教えてくれます。「分からん」という意見の人物も、「髭の点々があるから左の顔が男やな」、などと理由を述べながら話してくれず。ユーモラスで活気のある作品の魅力も感じ取ってくれたように思います。

どの年代でも、おしゃべりな人と物静かな人がいます。そのときは、車椅子の九〇歳の女性など、どんな話してくれる人が何人もいて、話のはずんだ明るい見学会となりました。グループで作品を鑑賞すると、他の人の意見がきっかけになって新しい発見が得られますし、最初に感じた印象に修正が加えられたりします。そのような鑑賞の楽しさは、子どもでも大人でもどのような年代でも変わることはありません。

帰りがけにみなさんは、「楽しかった」「久しぶり」「久しぶり」「久しぶり」など話をして、「美術館があるのを知っていたら、もっと前から来た

かった」などと話し、にこにこして帰っていかれました。最初に苦手意識を感じた作品でも、意見交換のなかで別の魅力が見つかる体験は、いくつになっても楽しい時間になるのではないかと思います。そのように考えていくと「暗さ」の感覚は、コミュニケーションの力で彩りが加えられていく可能性を持つものなのかもしれません。

韓国でコレクシオン展

二〇一六年のニュースとして、韓国慶尚南道昌原（チャンウォン）市の慶南道立美術館で行われていた「ピカソと3つの庭」展（九月二十九日―十二月四日）のこともご報告しておきましょう。この展覧会は、当館のコレクシオン展として開かれたもので、パブロ・ピカソ、フェルナン・レジェ、マックス・エルンストのように西洋二〇世紀を代表する作家の作品、奈良美智ら日本人作家の作品など、約八〇点が出品されました。入館者数は二万七千人余り。多くの人に当館コレクシオンの魅力を楽しんでいただきました。アンケートの結果を拝見すると、家族や友達で楽しんだ人が多く、学校からの見学も随

分あつたようです。オープニング式典では、徳島の阿波木偶箱まわし保存会が「三番叟」を上演。四国霊場一三番札所大日寺住職金昂先（キム・ミョウソン）さんによる四国遍路についての講演もありました。金さんは、韓国の重要無形文化財保持者（人間国宝）の舞踊家としても知られています。展覧会期間中は、美術館ロビーで阿波踊りや四国遍路について紹介するコーナーも設けられました。

日本の美術館も海外の展覧会に作品を貸し出す機会が増えていて、近年当館からもスペインやアメリカで行われた展覧会に出品しています。しかしコレクシオンの名品展を海外で行う美術館はまだ多くはありません。今回の展覧会では、韓国の人に、日本の美術館のコレクシオンをまとめて見ていただくいい機会になったと思います。

伊原宇三郎の特集

新年の展覧会として「特集 伊原宇三郎に見る西洋絵画の理論と技法」（担当…江川佳秀学芸調査課長）を開催しています（新年は五日から開催）。伊原は徳島県出身で、戦前戦後を通じて

日本の洋画壇で活躍しました。五年間のパリ留学では、西洋の伝統的な絵画技法や理論を身につけています。出品点数は、同時代の洋画家の作品二点を含めた四九点。これほどまとまった伊原の作品を展示したのは、特別展「伊原宇三郎展 生誕一〇〇年を記念して」（一九九四年）以来かもしれません。

また一月後半には、「フリースペース チャレンジとくしま芸術祭 2017」が行われます。今年も近代美術館の展覧会と普及事業をよろしくお願いいたします。

1月の催し

■所蔵作品展 徳島のコレクシオン 2016年度第三期
「特集 伊原宇三郎に見る西洋絵画の理論と技法」
2月19日「日」まで（新年は1月5日「木」から）
・「数学×美術でひろがる作品鑑賞 作品に潜む数学を探そう！」
9日「月・祝」1回目13時〜14時、2回目14時15分〜15時15分、講師…鳴門教育大学大学院生、対象…小学生以上

■「フリースペース チャレンジとくしま芸術祭 2017」
・展示部門17日「火」〜29日「日」（23日「月」は休館）
・パフォーマンス部門 22日「日」10時〜16時40分 会場…美術館ロビー
・表彰式 29日「日」15時〜美術館ロビー

大河ドラマ『南海道の晴嵐』を期して(一九)

文出水 康生

戦国おもしろ百話

三好・織田・豊臣・徳川時代に生きる横田内膳正村詮
——阿波岩倉和泉岸和田近江水口駿河駿府伯耆米子への変転(十四)——

謹賀新年

平成二九(二〇一七年)、明けましておめでとございます。

本誌連載が一九二回、12×16＝192で、十六年を経過して十七年目の第一歩となる。二〇一七年の一月号が十七年目の出発。「反骨の提言、共生・共栄・共同・共栄：、大河ドラマへ」の祈願が共感されて共楽の喜びを共々に祝杯とする歩みが進む。歳月の過ぎることはいやいことと驚嘆とその時日に一歩一歩と継続してきた成果を、継続は力なりと共賛する。



静岡駅前の家康像の路面案内板



静岡駅前の美タワーを背にして立つ徳川家康像



田中城下屋敷跡に復元された本丸二重櫓



下屋敷跡での菊花展風景



田中城本丸跡案内

午前中に猛攻して陥落させて城主松田康長を戦死させたが、一柳直末が鉄砲に撃た

小田原攻め、「天下」が全国の意に

最初の戦国天下人の三好長慶が支配した京畿が「天下」、天皇の存在によって重層的な支配構造が形成された京都とその近辺を畿内として京畿の首都圏を「天下」とした。その長慶の「天下」を武力によって奪うことが織田信長の「天下布武」の印章、旗幟の天下の意味であった。長慶から信長、秀吉への三〇年ほどの間に、「天下」が日本全国の意味となる。天皇の権威を利己的に

利用しながら自己を頂点とする身分制を形成することになる秀吉の時代にそれが現実化する。それが中世から近世への移行の意味ともなる。四国・九州平定で自信を持った秀吉は「惣無事令」を出し、大名の私闘を禁止し、違反するものは「征伐」することを宣言した。秀吉は諸大名から絶対服従を誓紙で確約させて所領安堵を保障するが、従わぬ者には圧倒的な兵力で征伐する「大義名分」の根拠に「天下惣無事令(豊臣平和令)」を置いた。真田氏を侵略した北

條氏が「惣無事令」の違反者として、総勢二二万の圧倒的な軍勢で「小田原征伐」をする。それで北條氏を滅ぼし、その過程で伊達政宗・南部信直・最上義光らを服従させて関東・奥州が結果的に平定された。それで天正十八(一五九〇)年の「小田原征伐」が天下(全国)統一の画期とされた。天下の意味が変転したのである。

小田原攻め始末

小田原攻めは二月一〇日の家康の駿府からの出陣で始まり、二月二〇日の豊臣秀次の京・前田利家の金沢からの出陣、二七日の二〇〇隻を超える豊臣水軍の清水港入港などの準備がされる。三月一日に秀吉が京の聚楽第を出発し、三月二七日に沼津に到着、翌日に長久保城で軍議を開き、二九日の早朝から秀次軍が箱根の要所の山中城を攻める。その先鋒に中村一氏勢がなつて

れて戦死し、秀吉が悲嘆にくれた。四月一日に秀吉本陣が箱根の早雲寺とされ、各隊が小田原に侵攻する。しかし、速攻はせず小田原城を包囲しての持久戦となる。六月五日に伊達政宗が到着して九日に秀吉に白装束で会う。二六日に小田原城の西の笠懸山に石垣造りと天守の石垣山城を「夜城」として披露。秀吉が大坂より職人を呼び寄せて四月に工事を開始して八〇日間で完成させ、目隠しとされていた樹木を伐採して「夜城」と称した。

七月五日に北条氏直が籠城兵の助命を条件に投降して小田原城が開城。七月三日に秀吉が小田原城入場。七月十一日に開戦の責任で北條氏政氏照重臣の大道寺政繁松田憲秀に切腹、北條氏直は高野山追放処分とする。十六日に小田原開城後も水攻めされながら抵抗していた忍城が開城して、小田原攻めが終了する。秀吉は七月十七日に小田原城を出発し、七月二六日に宇都宮に到着。関東・奥州仕置を実施、各大名が宇都宮に参陣する。九月一日に京都に帰着。

中村一氏、駿河国主に

小田原攻めが結着して関東奥州の仕置がされた。三河を本拠とする徳川氏が今川氏の滅亡の後に遠江を、武田氏の滅亡の後に駿河・甲斐・信濃三国を支配して五万國支配を領国とする大々名になっていた。その徳川氏が五万國支配から「小田原征伐」の後に北條氏の領国であった関東八国に転封され、天正二八(二五九〇)年八月一日を期して移動し、

太田道灌の由縁の江戸城に入城した。その日が「八朔」として祝福の日とされ、みかんの八朔の名とされている。その日が小生の誕生日で、高校の日本史学習で「八朔」のことを知って以来に、めぐり合せに何かとの思いを馳せて今日に至っている。

徳川氏の関東への転封で三河・遠江・駿河・甲斐・信濃が空白の地となった。家康の与力であった信濃の国衆の木曾義昌、

小笠原秀政・保科正直・諏訪頼忠も関東転封された。

三河・遠江・駿河に豊臣秀次を支える宿老とされた中村一氏・田中吉政・山内一豊・堀尾吉晴が配置された。中村一氏が駿河一國の国主に封ぜられ、田中吉政は三河岡崎、山内一豊は遠州掛川、堀尾吉晴は遠州浜松に封ぜられた。本来は織田信雄が三遠駿三国に封ぜられる仕置がされたが信雄が織田氏の故郷の尾張を要求して拒否したために下野に流罪とされ、尾張には豊臣秀次が近江長浜から移封され、その宿老の中村・田中・山内・堀尾氏が近江の封地から駿河・遠江に移動した。中村一氏は遠江水口六万石から駿河二四万五千石の国主として徳川家康の駿府城に入城する。豊臣秀吉の「天下(全国)」支配の手駒とされて、徳川家康の城に入り、関東に転封の徳川氏と領国

を接しての目付けとなる。このことが中村一氏の家老の横田内膳正村詮の人生に大転機を与える。小田原攻めの時には藪内匠・渡辺勘兵衛らの重臣が一氏に従っていたことは知られるが横田内膳正村詮の出陣は知られないので近江水口で留守居の統治に当たっていたものと推測される。

横田内膳正村詮 田中城主に

中村一氏が駿河国主として駿河の府中の意から駿府と称される駿府城に入城し、駿河統治のために弟の中村氏次(栄)を沼津の三枚橋城(二万二千石・河毛秀次を興国寺城(八千石)に配置し、西部の要地の田中城・藤枝市八千石)、小芝江尻、城六千石に横田内膳正村詮の三男の横田隼人が配置された。中村一氏が生駒親正・堀尾吉晴と共に豊臣政

権の五大老・五奉行の体制を円滑に動かすための役割の三中老となつて上洛しての京都聚楽第での勤務が多かったために、駿河二國の統治は横田内膳正村詮に委任され、村詮が行政的な敏腕を発揮する。文禄・慶長の朝鮮出兵を含む天正十八(二五九〇)年から関ヶ原合戦後慶長五(一六〇〇)年までの中村氏の伯耆米子への転封の十年間の駿河統治をする。東海道の宿駅制の整備や領国検地などに実績を残し、「横田村詮法度」が駿河国中に四通が現存するように偉大な功績を残した。そのことが各市町史誌に記録されている。

田中城の跡

十一月十六・十七・十八・十九日に中村郁夫さんの主催で静岡に取材の探訪をして多大な資料収集をし、各地を探訪した。十八日に富士見



西益津小学校の城門風の校門



西益津小学校の校地の田中城本丸跡石碑



亀城・亀甲城の復元庭園



西益津小学校の校歌碑



西益津中学校の校歌碑

の日本平から富士山を仰ぎ、駿遠の海を眺望した後に、横田氏の田中城跡へ貸切の観光タクシーで訪れた。田中城跡の本丸跡には藤枝市立西益津小学校、二の丸跡には西益津

中学校が位置していることを知った。それが写真のように証明された。下屋敷跡に本丸二重櫓が復元されていて、菊花展が開催されていて中学生が修学旅行に來ていて若々しい声が響いていた。田中城は四重の堀に囲まれた直径六〇〇米の同心円形の珍しい城で、その形から亀城・亀甲城と呼ばれた。その由来を下校途中の女生徒に聞くと由来が確実に答えられて、教えた教師を称賛した。西益津小学校の校章は三葉葵に西の字を入れ、校歌碑に「亀城のほまれ高草の山より高き田中城／文武の道にすぐれたる／人をそだてし城の跡／この学園に光あれ光あれ。したしむ人におくれじと／命あふる若き子が／きそいてもえる園にこそ／文化の花は咲くべけれ／この学園に力あれ力あれ。学びのまどの朝夕に／ふるきをたずね新しき／誠の道を求めんと／まなぶもうれし手をとりと／この学園に栄あれ栄あれ」と刻まれている。西益津中学校の校歌碑には「高草山の名に負ひて／文武の誉れ高かりし／亀城の跡に位置しめて／いらかそびゆる学び舎は／わが西益津中榮あれ光あれ」と刻まれている。

還暦・古希・喜寿そして

傘寿談議

徳島剣山世界農業遺産支援協議会 会長

永井 英彰

雨の中、急傾斜地農法を学ぶ

徳大生が三年連続で穴吹訪問

あたら
新しき
年の初めの
初春の
今日降る雪の
いや重け吉事
(万葉集 大伴家持)
平成二十九年の元旦を迎えるに当たって新年のご挨拶を申し上げます。

新年もまた混沌とした状況にありますが、若者は志が高く夢を叶えるべく邁進して欲しいと希望します。現役世代は日本の骨格を支えるよう尽くして欲しいと切に望みます。私たち老人は元気を一番と心得てできるだけ医療費を使わないようにしたいと

思います。筆者も今月名実ともに満八十歳の傘寿を迎えます。最近はいギリスのEU離脱、アメリカのトランプ大統領の誕生や、資本主義に疑問が生じるなど変革の時代に突入しています。つまり、社会で従来当然とされてきた制度や価値観に「待た」が掛かつて疑問符が付けられたのです。私達が支援している「剣山系を世界農業遺産に」という運動や徳島市春日で始めたカヤ敷農法の実験も、後述する西洋医学に対する見直しも、従来の価値観に対する反省かも知れません。何があつても堂々として生きて行き

ましよう。
三回目の穴吹調査
十二月二十七日、徳島大学の学生六十一人(玉真之介教授引率)がバス三台で美馬市穴吹町を訪れ、世界農業遺産の認定を目指す県西部二市二町の急傾斜地農法の特徴などについてフィールドワーク(現地調査)を行った。

同大学で「日本の農業を考える」講座を受講する各学部の一学生が参加、今年で三年目となる。私達徳島剣山世界農業遺産支援協議会からは鳴門渦潮高校・林博章先生と筆者が毎回アドバイザーとして参加している。

二行は同町西山で下車し、西谷経由で瀨名まで約一時間かけて歩いた。筆者の乗った2号車の女子学生が西山の手前で気分が悪くなり下車、隣席の学生も介護のため降りた。山中に二人だけを残すのも気がとがめたので、筆者も降りた。バス酔い学生は元気となり二行に追い付いて行つたが、筆者は次第に遅れて、二時間近く掛かってやっと追いついた。

現金収入に薬草栽培
瀨名地区では、雨の中、地元住民がテントを設営、収穫した里芋や大根などで作った豚汁や草餅を振る舞ってくれた。筆者もこの豚汁が大好きで、お代わりをした。この地区では現金作物として「ミシマサイコ(三島柴胡)」という薬草を栽培している。ミシマサイコは本州から四国・九州の日当たりの良い山野に自生す

る高さ30-50センチ位の植物。花期は8-10月で小さな黄色い花を多数咲かせる。しかし、生薬として使われるのはその根で、解熱、鎮痛作用があり漢方方に配合される。薬学部学生は関心を示し、根も見せてもらっていた。小雨を見計らって二行は少し山を登り、ススキを積み上げた「コエグロ」を見学した。

病気は自分で直す
二十四日、撫養新農業研究会例会がJR鳴門駅前の井上ホールで開かれ、大阪市門真市正幸会病院副院長、栗原幸三医師がゲストとして講演された。

先生は数年前から戦国時代の柳生心眼流武術を起源とする「腱引き」を学び、体の不具合は手足の骨間筋を刺激する骨間筋ケアにより「自分の体の不具合は自分で直せる」という「骨間筋メソッド」健康法を編み出した。

鍵を押して肩こりを直す栗原先生(左端)



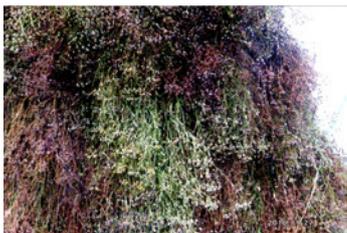
谷間の雲にはえるコエグロ



地元の野菜で作った豚汁



奥から豚汁を次々に回す



ミシマサイコの茎や種(上)と薬効のある根の部分(下)



鍵を押して肩こりを直す栗原先生(左端)

講演の前に肩や腰に痛みのある出席者十人ほどに次々と触り、其々たちどころに痛みを和らげて行った。昔戦場で傷ついたり、打撲を負ったりした仲間を逸早く楽にして連れ出すために施術した療法だという。治療を受けた人は「腰が楽になりこれでしたら元気に農作業ができそうだと喜んでいました。」

先生は「体の痛みは良い事で、動きにブレーキを掛けてくれている。しかし、不都合は医者でなく、自分でしか直せない。ではどうするか。毎日自分の体の全身、特に足を触る事。そして体の腱を刺激し骨間筋を鍛えるのが良い。そうするとグレイゾーン、レッドゾーンとなつている場所の可動域を拡げることができるようになる」と話された。先生は美馬市穴吹町井口の古民家を取得、「知足庵」と名付けて徳大大橋教室と組み、毎月、自然療法体験教室を開いている。栗原先生の教えを受け、筆者も毎晩の入浴時に全身の腱引き筋をほぐしている。

徳大で市民シンポ

翌二十五日、市民シンポジウム「古代より阿波を考える」(大橋真教室主催)が開かれ、栗原医師の他、NPO呼

吸大学・宮本二住氏、野田靖之先生、林博章先生、リッチハニカム片岡豊社長、それに筆者が其々講演した。

呼吸大学創始者の宮本さんは次のように話した。京都・法隆寺や正倉院は古い木造建築だが朽ちることなく現存している。それは横風でなく「縦の風」が呼吸しているからである。床は風が通るように隙間があり、天井は張られず、屋根瓦は隙間から風が抜ける仕組である。その知恵は古民家にも生かされている。地面を塞ぐ床張りも飛び打ちで屋根も茅葺のため風が通る。湿気も澱んだ空気も全て屋根から抜ける仕組みとなつている。ところが、現代建築はコンクリートで地面を塞ぎ密閉した部屋を良くしている。こんな場所で暖房すれば「頭寒足熱」の正反対となる。寒さ対策は着るもので工夫するのが健康に良い。縦に通る風を生かした木造建築を見直すべきでないか。

農業遺産、一次通過

農水省は二十四日、今年あらたに認定制度を設けた「日本農業遺産」と、国連食糧農業機関(FAO)に認定を申請する「世界農業遺産」の候補として、徳島県西部二市二

町の急傾斜地農法」にし阿波の傾斜地農耕システム」など九県十地域が、専門家会議の第一次審査をパスしたと発表した。四国では香川、愛媛も通過している。今年三月にかけて現地調査とプレゼンテーションの最終選考を実施する。日本農業遺産が決まるとともに、世界農業遺産の国際審査に提案する地域も決まる。

童謡の発表会

十二月二十六日、四国大学音楽ホールでピアノ演奏者と童謡愛唱歌の修了演奏会が開かれた。曲目は里の秋、紅葉、野菊、虫の声、誰もいない海、七つの子、小さい秋見つけた、赤とんぼーという秋のメドレー。筆者は本番の途中で咳が出そうになり、少し口パクでこまかした。上野美貴先生が高音の旋律を歌うと全体がそれなりに上手に聞こえるから素晴らしい。いつも伴



ショパンを独演する竹内郁子講師



ジャズダンスの発表会



カヤの間から芽を出した小麦



春日で栽培した紅菜苔(なのは)を使った一品(煮浸し)

奏をしてくれる竹内郁子講師が盛装して、ショパンの「革命」を独演されたが聴き応えがあった。今度は春の歌にも参加したい。

ジャズダンス発表会

十二月十一日、ダンススタジオオひまわり主催の発表会がアステイとくしままで開かれた。宝塚出身の瀬戸内美八さんが三十三年前に設立、二年ごとに発表会を開いていて今年が第十五回という節目に当たる。広い多目的ホールの最上段を残し満員の観客が詰めかけた。

三歳児からの可愛いプチクラスの順番に祖父母や知人が声援を送る。最前列近くには知人が筆者を見つけてくれた。妻も長年参加させてもらっているが、最年長者となり、「救心」片手に出演した。新品のカメラキヤノンM5を構えているのだが、

同じような服装なので探すのが「苦労で、後で焼き増ししたらロスもたくさんあった。多目的ホールは緻密が無く、階段が多く楽屋が遠い。前日に練習しただけの即本番だったので、関係者は大変だったと思う。閉幕後に瀬戸内さんにお会いしたので「長年妻がお世話になりました」と挨拶したら「まだ続くんじよ」と返された。妻はどうするのだろうか。

カヤ束を更に増やす

十一月十八日、知人から「旧吉野川南岸で国交省がカヤを刈っている」との連絡を受け、軽トラで二往復分の五十束を徳島市春日の実験田へ運んだ。時々これを畑へ敷いたのでほぼすべてを覆うことができた。小麦も見て判る位に大きくなつてきた。年末にはプロッコリーも初収穫。ソラマメも植えた。

TOPICS

折り畳み式大画面

スマホは小さすぎて他の人と一緒に見づらい、急な仕事で使うためにもっと大画面が必要、そんなときに取り出した書類サイズのガジェットが、まるで折り畳み傘の様に開いて、24インチディスプレイが登場する…。この携帯できる折りたたみ式プレイ「The Spontaneous Pop-up Display」は、折りたたんだ時のサイズが長さが19cm、幅が17cm、厚みが5.5cmで、靴に入れて簡単に持ち歩くことができる非常に画期的なディスプレイです。スマートフォンやタブレット、ノートパソコンが接続できるだけでなく、明るくシャープな映像が投影されたため、文字もしっかり表示されます。



バッテリー内蔵で最大10時間使用できるため、電源が確保できないところでも使用できます。しかも、「The Spontaneous Pop-up Display」自体をモバイルバッテリーとしても使えるため、スマートフォンに充電することも可能です。

現在クラウドファンディングのKickstarterで資金調達キャンペーン中ですが、目標額の16倍以上の調達に成功しているため、大勢の人が製品化に期待しています。

TOPICS

トラウマがなくなる？

事故や災害における恐怖体験や対人関係のトラブルといった社会的関係のストレスなど、嫌な記憶は強く形成されてしまうとトラウマとなり、対人恐怖症等の社会性障害を引き起こしてしまいます。



横浜市立大学は12月6日、トラウマ記憶を光操作により消去する技術の開発に成功したと発表しました。

同研究グループは、光に反応して活性酸素を発生する光増感物質を抗体などに吸着させ、抗体が標的分子に結合した際に光を当てることでその標的タンパク質を活性酸素により不活性化する技術を用いて、トラウマ記憶形成の過程でシナプスに移行したAMPA受容体を破壊することにより、トラウマ記憶を消去することに成功しました。

この成果によって、記憶形成のメカニズム解明、心的外傷後ストレス障害などの心の傷に起因した社会性障害の精神障害をコントロールする新規治療法開発の糸口になることが期待されます。

編集長の

四方山後記

よもやま



時代の変化に対応する

二〇一七年がスタートしました。アメリカではオバマ大統領の任期が終わり、トランプ新大統領の権が誕生し、イギリス・ロンドンでは世界陸上競技大会が開催されます。日本を初めとする各国経済にとって、「アメリカ・フアースト」（米国第一主義）のトランプ政権の誕生は、大きな影響を与えることになるでしょう。

有権者が期待しているのは、現状維持ではなく「変化」です。そして、現代のグローバルな競争と顧客動向の変化が激しい時代には、組織に対して変化への対応力や創造力、イノベーションの能力がリーダーに要求されるようになっていきます。過去の成功要因や失敗要因に目を向けるのではなく、リーダーは常に今、そして未来に予測される変化に対して鋭い注意力と洞察力をもって適応していかなければなりません。リーダーに柔軟性が欠

けていると、世の中の激しい変化には対応することができません。リーダーは率先して変化に対応し、また変化を起こしていく姿勢が求められます。社内のすべての組織が急激な変化に対応する能力を持ち、他の組織と協調しつつ、全体のパワーが最大化できるようにしていく必要もあります。そのためには、組織風土を改善し、指示待ちではなく、創造力のある人材の育成にも力を入れていく必要があります。

徳島エコノミージャーナル



第27巻 第3号 No. 446 平成28年12月1日発行

【発行人】松本美穂

【編集】松本康平、中村あゆみ

【デザイン】庄野文子

【発行所】(株)プレーンバンク

【本社】〒776-0013 徳島県吉野川市鴨島町上下島440

Tel.0883-22-0883 Fax.0883-22-1505

E-Mail:ecoja@jctv.ne.jp



今月の娯録



初詣で、一年の平穏無事や幸せを願う。

しかし、願うだけでは物事は成就しない。
真剣に考え、閃きを得て、行動することだ！

そう、元旦から一年の修行が始まっている！



書と画 四宮生重郎

2017年4月9日に徳島中央公園の鷺の門
広場で「蜂須賀まつり」が開かれること
が決まり、準備に忙しい新春です。

一月

平成29年・2017年

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火